SONY

3-043-884-**02** (1)

パーソナルミニディスクシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

エムディオ
MDIO
MD-CD Integrated System

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

ZS-M75

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

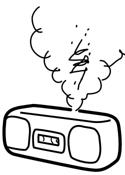
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く

目次

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



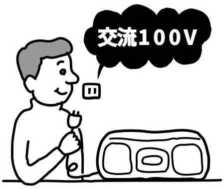
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



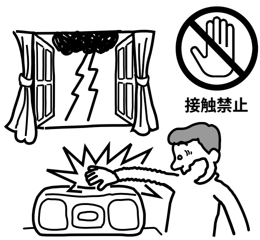
海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ただし製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナをたたんで使用を中止してください。



ガス管にアース線やアンテナをつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



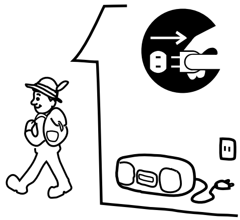
ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



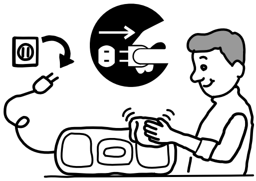
移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



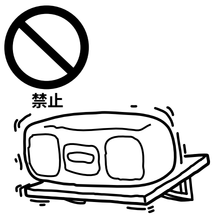
お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



⚠注意 つづき

通風孔をふさがない



布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ＋と－の向きを正しく入れる。

⚠注意

- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

この取扱説明書について

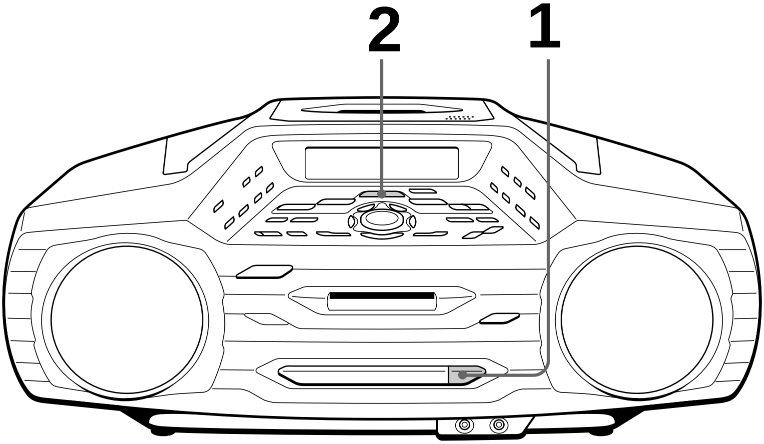
本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。

「各部のなまえ」（82～85ページ）も併せてご覧ください。

録音についてのご注意

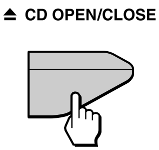
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- パーソナルミニディスクシステムの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
  （お問い合わせ先（社）私的録音保証金管理協会　Tel.03-5353-0336）

CDを聞く



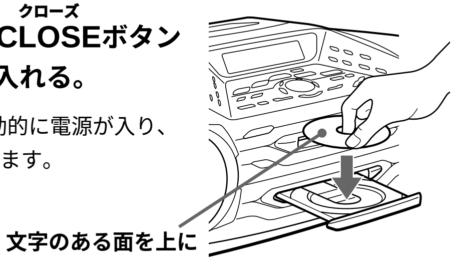
準備➡「接続する」（65〜67ページ）をご覧ください。

1

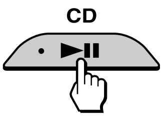


⏏ CD OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ）ボタンを押してCDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDトレイが出てきます。

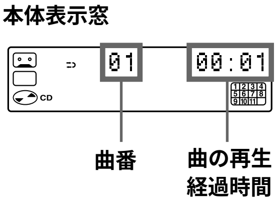


2

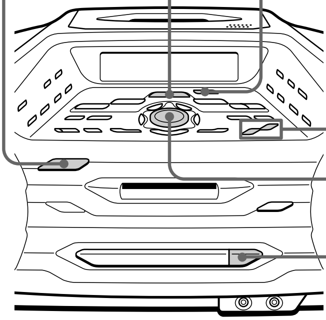


CDの►IIボタンを押す。（リモコンではCDの►ボタンを押す。）

CDトレイが閉まり、再生が始まります。



その他の操作



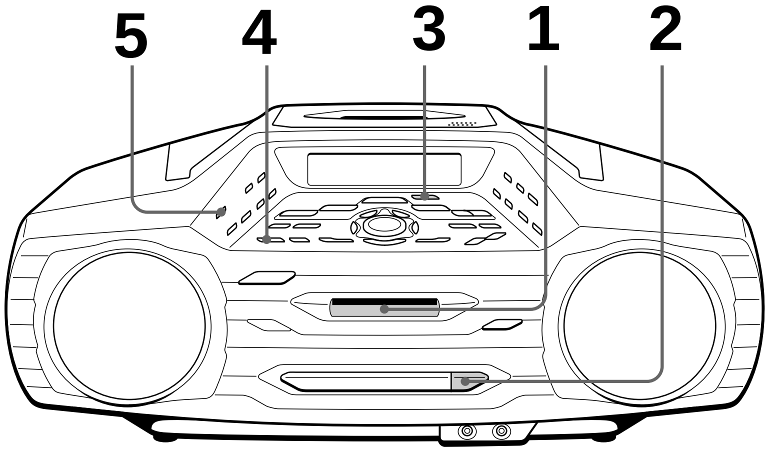
ちょっと一言

一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときはCDの▶IIボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	VOLUME（ボリューム）＋、－（VOL＋、－）
再生を止める	CDの■
再生中に一時停止する	CDの▶II（CDのII） もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 （I◀◀ を押す。）
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 （▶▶Iを押す。）
CDを取り出す	⏏ CD OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ）
電源を入/切する	POWER（パワー）

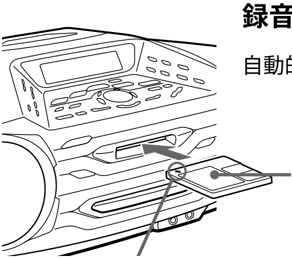
（　）内はリモコンのボタンです。

CDをまるごとMDに録音する（シンクロ録音）



準備➡「接続する」（65～67ページ）をご覧ください。

1



録音用MDを入れる。

自動的に電源が入ります。

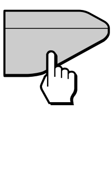
本体表示窓



「TOC Reading」表示後、ディスク名が記録されているときはディスク名が出る

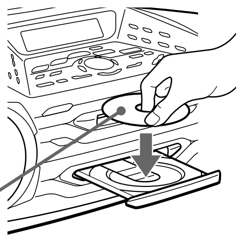
2

⏏ CD OPEN/CLOSE



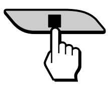
⏏ CD OPEN（オープン）/CLOSE（クローズ）ボタンを押してCDを入れる。

ボタンを押すとCDトレイが出てきます。再び⏏ CD OPEN/CLOSEボタンを押してCDトレイを閉めます。

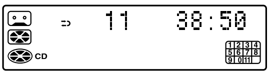


文字のある面を上に

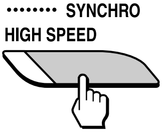
3



CDの■ボタンを押す。



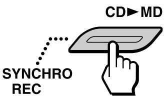
4



高速録音する場合はHIGH(ハイ) SPEED(スピード)ボタンを押す。

ランプが点灯します。
高速録音しない場合は手順5に進んでください。

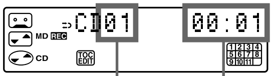
5



SYNCHRO(シンクロ) REC(レコーディング) CD►MDボタンを押す。

自動的に録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。



高速録音についてのご注意

- 一度高速録音した曲は、74分間は再び高速録音できません。74分以内に高速録音を始めると、通常の速度で録音されます。1枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。
- 高速録音中に曲の途中で録音が止まると、その曲は録音されません。

次のページへつづく

CDをまるごとMDに録音する（シンクロ録音）（つづき）

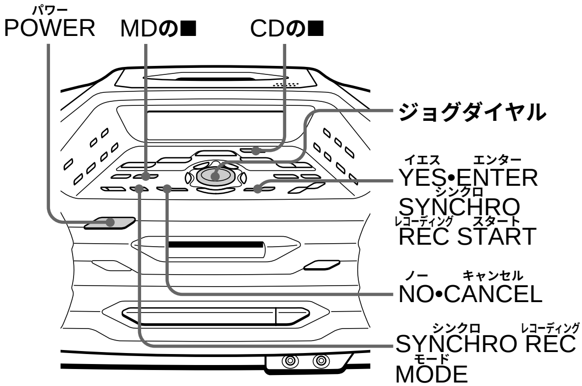
ご注意

- **TOC EDIT** **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- シンクロ録音の場合、録音の一時停止などはできません。

ちょっと一言

- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- 録音済みのMDの内容を消して上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（59ページ）。
- 録音中にディスク名、曲名を付けることができます。53～57ページをご覧ください。

その他の操作



こんなときは	押すボタン
録音を止める	MDの■またはCDの■
電源を入/切する	POWER（パワー）

「CD>MD OK?」と足りない時間が交互に表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
CDを最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは77ページをご覧ください。

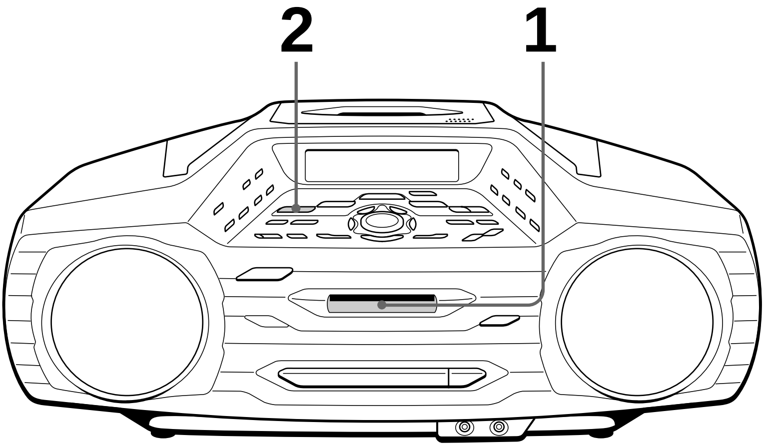
SYNCHRO REC•MODEボタンを使って録音することもできます。

1 10～11ページの手順1～4を行う。

2 SYNCHRO REC•MODEボタンを押した後、ジョグダイヤルを回して「CD→MD」を表示させる。
このとき、「CD→MD&TAPE」を選ぶとMDとテープに同時に録音することができます。（同時に録音する場合は高速録音はできません。）

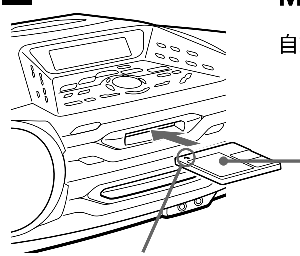
3 SYNCHRO REC STARTボタンを押す。

MDを聞く



準備➡「接続する」（65〜67ページ）をご覧ください。

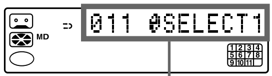
1



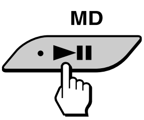
MDを入れる。

自動的に電源が入ります。

本体表示窓

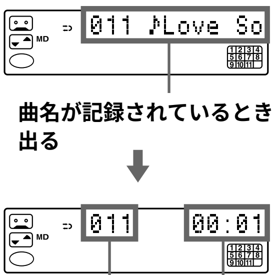


2

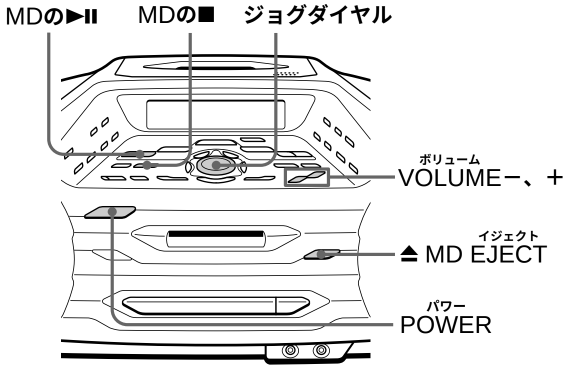


MDの►IIボタンを押す。

再生が始まります。



その他の操作



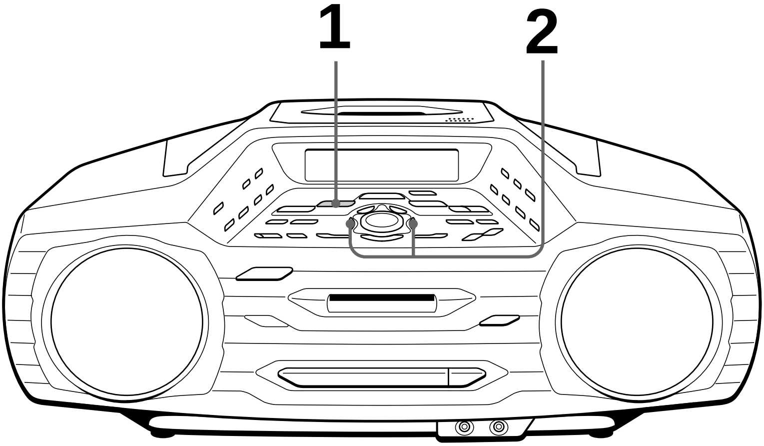
ちょっと一言

一度MDを入れておけば、次にMDを聞くときはMDの▶IIボタンを押すだけで電源が入り、再生を始めることができます。

こんなときは	押すボタン/操作
音量を調節する	VOLUME＋、－（VOL＋、－）
再生を止める	MDの■
再生中に一時停止する	MDの▶II（MDのII） もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 （I◀◀ を押す。）
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 （▶▶Iを押す。）
MDを取り出す	⏏ MD EJECT
電源を入/切する	POWER

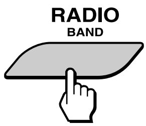
（　）内はリモコンのボタンです。

ラジオを聞く



準備➡「接続する」(65〜67ページ)をご覧ください。

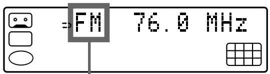
1



RADIO BANDボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

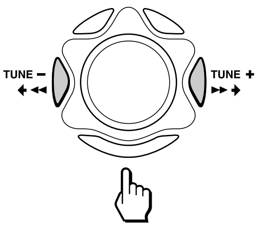
ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」(「TV」)または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓



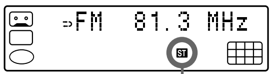
「FM」(「TV」)または「AM」が出る

2



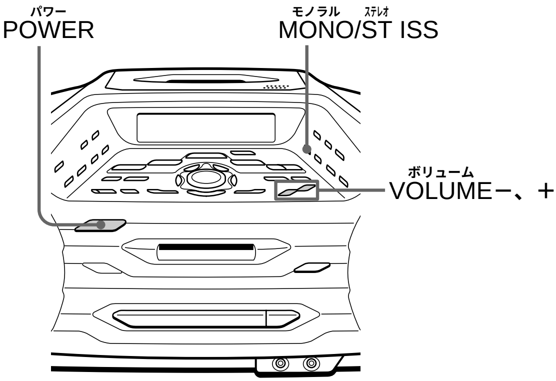
TUNE+または–ボタンを押したままにし、表示窓の数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、TUNE+または–ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。



FMステレオ受信のとき出る

その他の操作



ちょっと一言

- FMステレオ放送の雑音が多いときは、MONO/ST ISSボタン(リモコンではMODEボタン)を押して、表示窓に「Mono」を表示させます。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはRADIO BANDボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

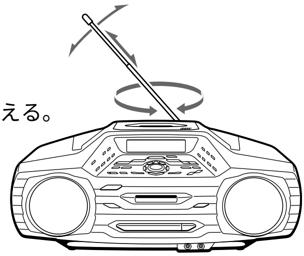
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME(ボリューム)＋、−(VOL＋、−)
電源を入/切する	POWER(パワー)

(　)内はリモコンのボタンです。

受信状態をよくするには

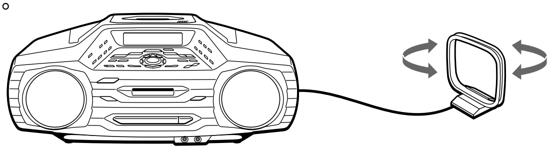
FM(TV1〜3ch)放送のとき

アンテナを伸ばし、向きを変える。



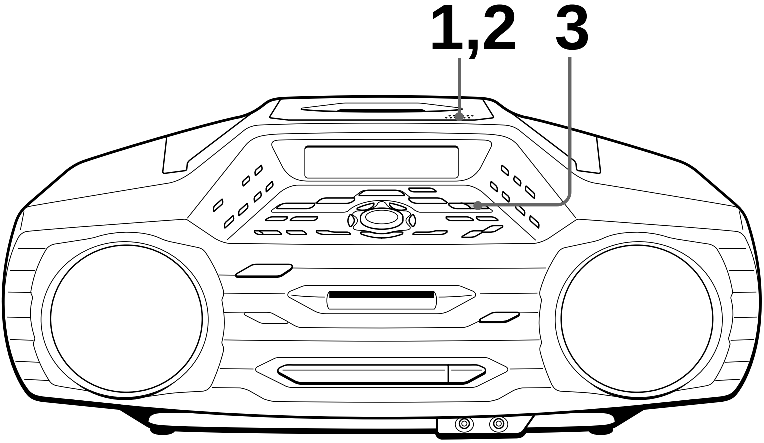
AM放送のとき

AMループアンテナを本体からできるだけ離し、向きを変える。



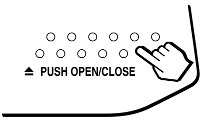
それでも受信状態がよくならない場合は、屋外アンテナを接続してください(67ページ参照)。

テープを聞く

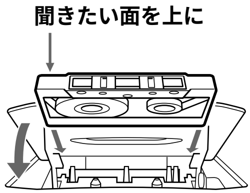


準備➡「接続する」（65～67ページ）をご覧ください。

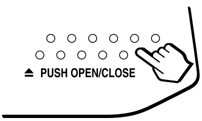
1



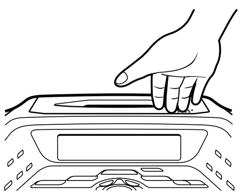
⏏PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）を押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。



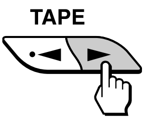
2



⏏PUSH OPEN/CLOSE（プッシュ オープン クローズ）を押してカセットぶたを閉める。

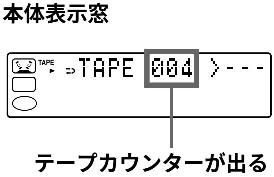


3

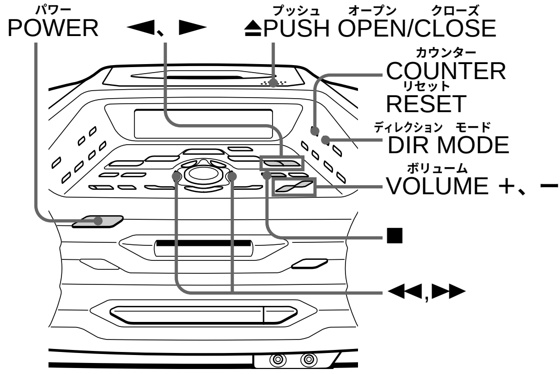


TAPE（テープ）の►ボタンを押す。

自動的に電源が入り、再生が始まります。



その他の操作



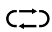
ちょっと一言

- テープカウンターは、COUNTER RESETボタンを押すと000に戻ります。あとから頭出しするのに便利です。
- 一度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは ►または◄ ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。
- TYPE I(ノーマル)、TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)のどのテープも再生に使えます。

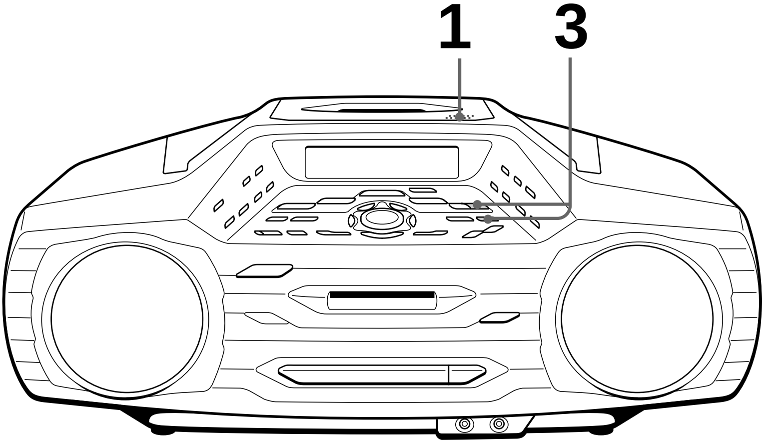
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME +、–
再生を止める	■
反対面を再生する	◄
早送りや早戻しをする	◄◄または►►
カセットを取り出す	⏏PUSH OPEN/CLOSE
電源を入/切する	POWER

再生する面(片面か両面)を選ぶには

DIR MODEボタンを押すたびに、下のように切り換わります。

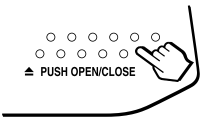
	表示窓
片面だけを聞く	
両面を聞く	
両面を繰り返して聞く	

ラジオ・CD・MDをテープに録音する



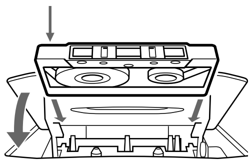
準備➡「接続する」(65〜67ページ)をご覧ください。

1



⏏PUSH OPEN/CLOSEを押してカセットぶたを開け、録音用カセットを入れる。

録音を始める面を上に

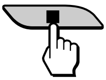


TYPE Ⅰ（ノーマル）テープをお使いください。

閉めるときも⏏PUSH OPEN/CLOSEを押します。

2

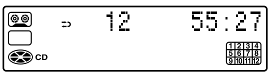
録音するものを選ぶ。

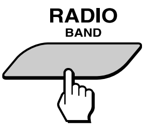


CDを録音するとき

CDを入れる（8ページ参照）。CDの■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

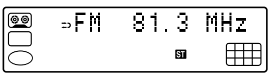
本体表示窓

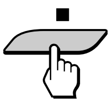




ラジオを録音するとき

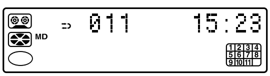
録音する局を受信する（16ページ参照）。





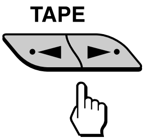
MDを録音するとき

MDを入れる（14ページ参照）。MDの■ボタンを押して、MDを録音できる状態にする。



3





録音を始める。

CDを録音するとき

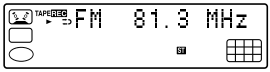
① REC/REC PAUSEボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。
（リモコンでは●/❚❚ボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。）



② CDの►❚❚ボタンを押してCDの再生を始める。

ラジオを録音するとき

REC/REC PAUSEボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。



MDを録音するとき

① REC/REC PAUSEボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。
（リモコンでは●/❚❚ボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。）

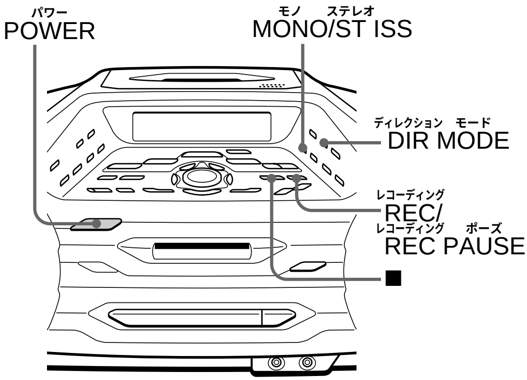


② MDの►❚❚ボタンを押してMDの再生を始める。

ちょっと一言

- 反対面に録音するには、TAPEの►ボタンの代わりにTAPEの◄ボタンを押します。
- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 表示窓に⇄または⟲⇄が出ていると、テープの両面に録音されます。片面だけに録音するときは、本体のDIR MODEボタンを押して⇄を出します。
- AM放送を録音するとき、手順3でREC/REC PAUSEボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、本体のMONO/ST ISSボタン（リモコンではMODEボタン）を押して雑音が消える状態を選んでください。
- **録音した音を消去するには**
  1 デッキに音を消したいカセットを入れ、TAPEの■ボタンを押す。
  2 REC/REC PAUSEボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。（リモコンでは●/❚❚ボタンを押したあと、TAPEの►ボタンを押す。）

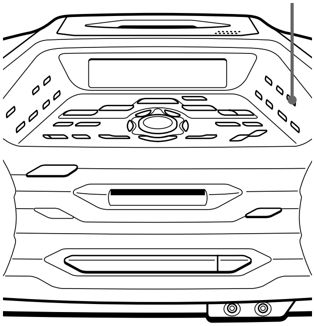
その他の操作



こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
録音を一時停止する	REC/REC PAUSE もう一度押すと録音が始まります。
電源を入/切する	POWER

表示窓の見かた

表示窓で、CDまたはMDの全曲数や全再生時間を調べることができます。



ちょっと一言

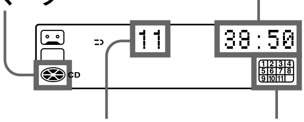
CDテキスト対応のCDの場合、ディスク名、アーティスト名なども表示されます(24ページ)。

ご注意

リピート再生(26ページ)、プログラム再生(28ページ)、シャッフル再生(27ページ)のときは、残りの曲数と残り時間は表示されません。

CDの停止中

次の表示が出ます。
全曲数と全再生時間を調べることができます。



13曲以上入っているCDでは、ミュージックカレンダーに「OVER 12」が表示されます。

CDの再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間が表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

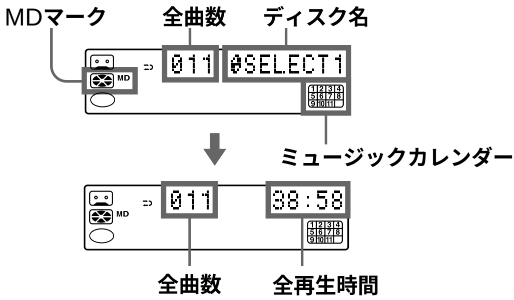
残り再生時間を調べるには

DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲の残り時間	1回
残りの曲数と残り時間	2回
再生中の曲番と曲の再生経過時間(通常表示)	3回

MDの停止中

次の表示が出ます。
全曲数と全再生時間を調べることができます。



13曲以上入っているMDでは、ミュージックカレンダーに「OVER 12」が表示されます。

ちょっと一言

ディスク名、曲名が表示されるのは、MDにディスク名、曲名が記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

録音用MDの録音可能時間を調べるには

DISPLAYボタンを押します。

MDの再生中

再生中の曲番と曲の再生経過時間、および曲名が表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

ちょっと一言

曲名が表示されるのは、MDに曲名が記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

ご注意

リピート再生(26ページ)、プログラム再生(28ページ)、シャッフル再生(27ページ)のときは、残りの曲数と残り時間は表示されません。

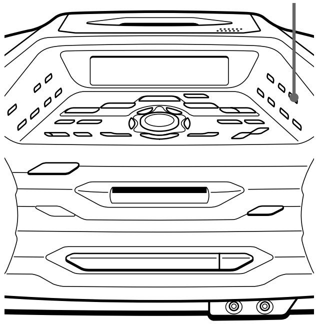
残り再生時間、録音日時などを調べるには

DISPLAYボタンを押します。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲名	1回
再生中の曲番と曲の残り時間	2回
残りの曲数とディスク名	3回
残りの曲数と残り時間	4回
録音した日時*	5回
再生中の曲番と再生経過時間(通常表示)	6回

* 時計を合わせておくと録音したとき、自動的に録音日時が記録されます(59ページ)。

CDテキストの情報を確認する



CDテキスト（CDに記録されているディスク名、アーティスト名、曲名などの情報）が記録されているCDを聞くと、表示窓にディスク名、アーティスト名、曲名などが表示されます。

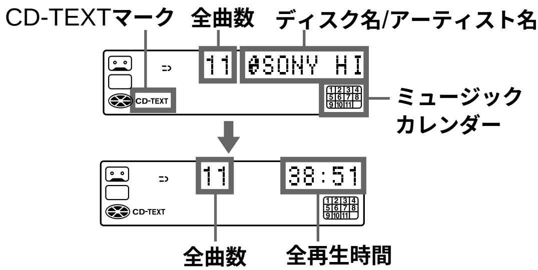
ちょっと一言

- COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT CDテキスト対応のCDは、CDやCDケースにCDテキストのマークが付いています。
- 本機で表示できるCDテキストは、英数字のみです。日本語は表示されません。

  日本語のみが記録されているCDテキスト対応のCDを聞くと、表示窓に「CD-TEXT」が表示されますが、テキスト情報は表示されません。
- 本機はCDテキストを合計で1,000文字まで表示できます。長いディスク名や曲名は途中で切れてしまうことがあります。

CDの停止中

次の表示が出ます。
全曲数と全再生時間を調べることができます。



13曲以上入っているCDでは、ミュージックカレンダーに「OVER12」が表示されます。

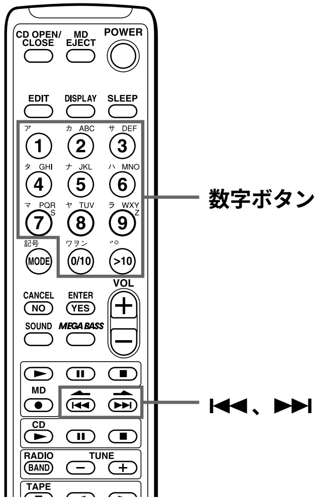
CDの再生中

再生中の曲番と曲名が表示された後、表示は再生中の曲番と再生経過時間に変わります。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。
さらにDISPLAYボタンを押すと、表示は次のように変わります。

表示	押す回数
再生中の曲番と曲名	1回
再生中の曲番と曲の残り時間	2回
残りの曲数とディスク名/アーティスト名	3回
残りの曲数と残り時間	4回
再生中の曲番と再生経過時間（通常表示）	5回

聞きたい曲を選ぶ
（ダイレクト選曲/サーチ）

CDまたはMDの聞きたい曲の再生を、リモコンの数字ボタンですぐに始めることができます。また、⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



ご注意

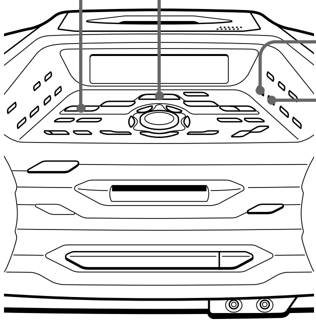
ダイレクト選曲の場合、表示窓に「REP PGM」「REP SHUF」「PGM」「SHUF」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

- 10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン（1〜0）を押します。
  例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。
  10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- MDで100曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ （ダイレクト選曲）	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す （サーチ）	再生中に⏮、⏭ボタンを押したままにする。 指を離すと、そこから再生されます。 （本体では◀◀または▶▶ボタンを使います。）
表示窓の再生時間を見ながら探す （高速サーチ）	一時停止中に⏮、⏭ボタンを押したままにする。 指を離すと、その位置で一時停止になります。 （本体では◀◀または▶▶ボタンを使います。）

繰り返し聞く
（リピート再生）



CDまたはMDを1曲だけ、または全曲を繰り返し聞くことができます。
シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。

リモコンでは

- 再生中にMODEボタンを繰り返し押して「REP 1」または「REP ALL」を選びます。再生中は「REP SHUF」や「PGM REP」を選ぶことはできません。
- 停止中でもリピート再生にすることができます。

  MODEボタンを繰り返し押して「REP 1」、「REP ALL」、「REP SHUF」、「REP PGM」を選びます。そのあとCDまたはMDを再生します。

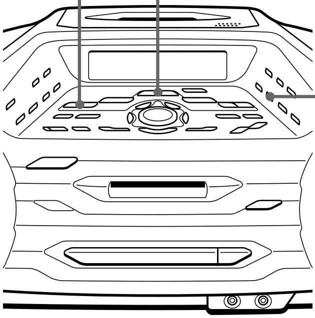
リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1　繰り返したい曲を再生する。 2　REPEATボタンを繰り返し押して「REP 1」を表示させる。
全曲を繰り返す	1　再生を始める。 2　REPEATボタンを繰り返し押して「REP ALL」を表示させる。
順不同に繰り返す	1　シャッフル再生を始める。(27ページ参照) 2　REPEATボタンを押して「REP SHUF」を表示させる。
プログラムした曲順で繰り返す	1　プログラム再生を始める。(28ページ参照) 2　REPEATボタンを押して「REP PGM」を表示させる。

リピート再生をやめるには

停止させてからREPEATボタンを押して「REP」を消します。

順不同に聞く
（シャッフル再生）

CDまたはMDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。



ちょっと一言

シャッフル再生中はジョグダイヤルを回して（リモコンでは⏮ボタンを押して）前の曲に戻すことはできません。

リモコンでは

MODEボタンを押して「SHUF」を選びます。

聞きたい音源（CDまたはMD）の停止中に操作してください。

1 SHUF/PGM**ボタンを押して「**SHUF**」を表示させる。**

2 CD**の▶II（または**MD**の▶II）ボタンを押す。**

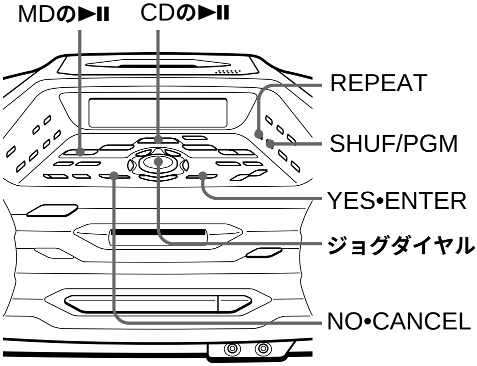
シャッフル再生が始まります。

シャッフル再生をやめるには

停止させてからSHUF/PGMボタンを押して「SHUF」を消します。

聞きたい曲を好きな順に聞く
（プログラム再生）

CDまたはMDを20曲まで聞きたい順にプログラムすることができます。



リモコンでは

MODEボタンを押して「PGM」を選び、数字／文字ボタンで曲番を選びます。

ちょっと一言

曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、ジョグダイヤルとYES•ENTERボタンで曲を選び直します。

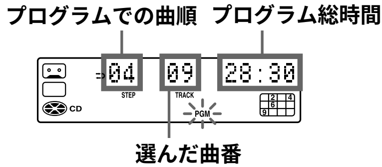
聞きたい音源（CDまたはMD）の停止中に操作してください。

1 **SHUF/PGMボタンを押して「PGM」を表示させる。**

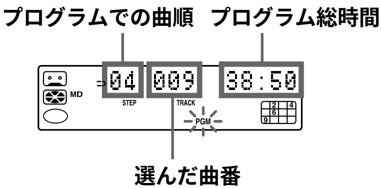
2 **ジョグダイヤルを回して曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。**

この操作を繰り返す。
選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。

（CDの場合）



（MDの場合）



ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶IIボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。
- CDトレイを開けるとCDのプログラムの内容が消え、MDを取り出すとMDのプログラムの内容が消えます。
- 再生中は、合計時間を表示することはできません。

3 CDの▶II（またはMDの▶II）ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

停止させてからSHUF/PGMボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには

再生を始める前にYES•ENTERボタンを押します。
ボタンを押すたびにプログラムした順で曲番号が表示されます。

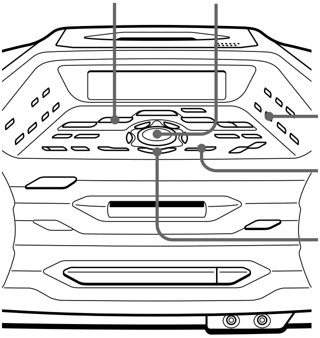
プログラムを変更するには

再生を始める前に変更します。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	1 NO•CANCELボタンを押す。最後にプログラムした曲が消えます。 2 プログラムし直す。
プログラムをし直す	1 ■ボタンを押してプログラムをすべて消す。 2 初めからプログラムをし直す。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶します(オートプリセット)。次からは記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、計20局記憶できます。
また、都道府県名を登録させると、受信している放送局名が表示されます。放送局名を付け換えることもできます。



ちょっと一言

FMかAMに都道府県名を登録すると、もう一方にも同じ都道府県名が登録されます。

ご注意

手順3でAUTO PRESETボタンを押さずに約10秒以上たつと前回登録した都道府県名が登録されます。選び直すには手順2からやり直してください。

1 RADIO BAND**ボタンを押して、**FM**か**AM**を選ぶ。**

2 **「**Auto Preset**」が表示されるまで、**AUTO PRESET**ボタンを押したままにする。**

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局だけが自動的に記憶されます。

記憶されると、プリセット番号1に記憶された局を受信し、都道府県名が表示されます。

3 **ジョグダイヤルを回して都道府県名を選ぶ。**

放送局名を表示させないときは

AUTO PRESETボタンを押します。

4 YES•ENTER**ボタンを押す。**

放送局名が記憶され、受信したときに表示されます。表示される放送局については32、33ページをご覧ください。

リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

2 TUNE＋または－ボタンで放送局を選ぶ。

3 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

入力できる文字は

- カタカナ
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号！" ＃ ＄ ％ ＆ ( ) ＊ . ; ＜ ＝ ＞ ? @ _ ` + − ' , ／ : ␣（スペース）

ちょっと一言

文字の入力のしかたについて詳しくは、54ページの手順3をご覧ください。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させるには

1 RADIO BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

2 TUNE＋、TUNE－ボタンで記憶させたい放送局の周波数に合わせ、YES•ENTERボタンを約2秒間押す。

3 ジョグダイヤルで記憶させたいプリセット番号を選ぶ。

4 YES•ENTERボタンを押す。
都道府県名が登録されている場合（32ページ）は放送局名が表示されます。新しい放送局を記憶すると、同じ番号に記憶されていた局は消えます。

ラジオ

記憶させた放送局名を変えるには

1 34ページの手順に従って、放送局を選ぶ。

2 EDITボタンを約2秒間押したままにする。

3 放送局名を変える（最大12文字まで）。

操作	使うボタン
カーソルを移動する	⇦または⇨
文字を選ぶ	ジョグダイヤルを回す
文字を消す	DEL
文字を挿入する	INS

4 YES•ENTERボタンを押す。

次のページへつづく

放送局を記憶させる（つづき）

FM局名 (1999年5月現在)

放送局名	表示
NHK-FM	NHK-FM
FM北海道	AIR-G'
FMノースウェーブ	northwave
FM青森	FMアオモリ
FM岩手	FMイワテ
FM仙台	Date fm
FM秋田	FMアキタ
FM山形	FMヤマガタ
FM福島	フクシマFM
FM栃木	RADIO BERRY
FM群馬	FMグンマ
FM埼玉	NACK 5
FMサウンド千葉	bay fm
放送大学	ホウソウダイガク
FMインターウェーブ	InterFM
FM東京	TOKYO FM
FMジャパン	J wave
横浜FM放送	Fm yokohama
FMラジオ新潟	FMニイガタ
富山FM放送	FMトヤマ
FM石川	FMイシカワ
福井FM放送	FMフクイ
FM富士	FMフジ
長野FM放送	FMナガノ
静岡FM放送	K-MIX
FM名古屋	ZIP-FM
FM愛知	FM AICHI
三重FM放送	ミエFM
FM滋賀	E-RADIO
FM京都	AlphaStation
FMはちまるに	FM802
FM大阪	fm osaka
関西インターメディア	FM COCOLO
兵庫FMラジオ放送	Kiss-FM
FM山陰	FMサンイン
広島FM放送	ヒロシマFM
岡山FM	FMオカヤマ
FM山口	FMヤマグチ
FM徳島	FMトクシマ
FM香川	FMカガワ
FM愛媛	FMエヒメ
FM高知	FMコウチ
FM九州	CROSS FM
九州国際FM	LOVE FM
FM福岡	FMフクオカ
FM佐賀	FMサガ
FM長崎	FMナガサキ
FM中九州	FMナカキュウシュウ
FM大分	FMオオイタ
FM宮崎	FMミヤザキ
FM鹿児島	ミューFM
FM沖縄	FMオキナワ

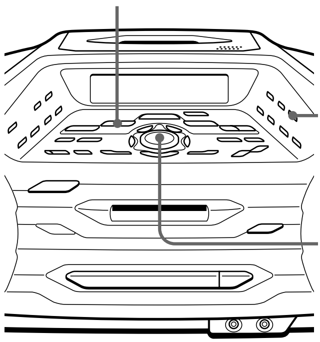
AM局名 (1999年5月現在)

放送局名	表示
NHK第1放送	NHK-1
NHK第2放送	NHK-2
北海道放送	HBC/ホッカイドウ
札幌テレビ放送	STV/サッポロTV
青森放送	RAB/アオモリ
AFN三沢	AFN ミサワ
アイビシー岩手放送	IBC/イワテ
東北放送	TBC/トウホク
秋田放送	ABS/アキタ
山形放送	YBC/ヤマガタ
ラジオ福島	RFC/ラジオフクシマ
茨城放送	IBS/イバラキ
栃木放送	CRT/トチギ
AFN東京	AFN トウキョウ
東京放送	TBS
文化放送	ブンカ
ニッポン放送	ニッポン
アール・エフ・ラジオ日本	RFラジオニッポン
新潟放送	BSN/ニイガタ

北日本放送	KNB/キタニホン
北陸放送	MRO/ホクリク
福井放送	FBC/フクイ
山梨放送	YBS/ヤマナシ
信越放送	SBC/シンエツ
岐阜放送	GBS/ギフ
静岡放送	SBS/シズオカ
東海ラジオ放送	トウカイラジオ
中部日本放送	CBC/チュウブニホン
近畿放送	KBSキョウト
朝日放送	ABC/アサヒ
毎日放送	MBS/マイニチ
大阪放送	OBC/オオサカ
ラジオ関西	AM KOBE
和歌山放送	WBS/ワカヤマ
山陰放送	BSS/ サンイン
山陽放送	RSK/ サンヨウ
中国放送	RCC/チュウゴク
山口放送	KRY/ヤマグチ
AFN岩国	AFN イワクニ
四国放送	JRT/シコク
西日本放送	RNC/ニシニホン
南海放送	RNB/ナンカイ
高知放送	RKC/コウチ
九州朝日放送	KBCキュウシュウアサヒ
アール・ケー・ビー毎日放送	RKBマイニチ
長崎放送	NBC/ナガサキ
AFN佐世保	AFN サセボ
熊本放送	RKK/クマモト
大分放送	OBS/オオイタ
宮崎放送	MRT/ミヤザキ
南日本放送	MBC/ミナミニホン
AFN沖縄	AFN オキナワ
琉球放送	RBC/リュウキュウ
ラジオ沖縄	ROK/ラジオオキナワ

記憶させた放送局を聞く
（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を簡単に選ぶことができます。放送局を記憶させる方法は、30ページをご覧ください。



リモコンでは

1 BANDボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
2 記憶させた局のプリセット番号の数字ボタンを押す。

1 RADIO BAND**ボタンを押して、**FM**か**AM**を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。**

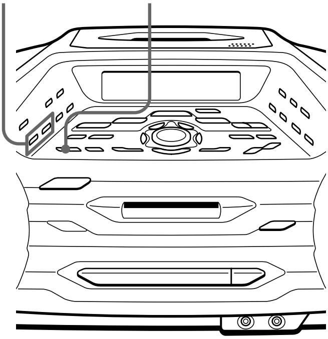
放送局名を調べるには

DISPLAYボタンを押します。周波数表示に戻すには、もう一度DISPLAYボタンを押します。

CDの再生中の曲だけを録音する(REC IT録音)

(レック イット)

再生中の曲だけを、ボタンひとつでその曲の頭から録音できます。聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。



ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 高速録音についてのご注意は11ページをご覧ください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDの内容を消して録音するには、44ページをご覧ください。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます(59ページ)。
- 録音中に曲名を付けることができます。53ページをご覧ください。

1 録音用MDを入れる。

2 録音するCDを入れ、録音したい曲を再生する。

3 高速録音する場合は、HIGH SPEEDボタンを押してランプを点灯させる。

高速録音しない場合は手順4へ進んでください。

4 REC IT TO TOPボタンまたはTO ENDボタンを押す。

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。

録音済みMDの場合、すでに録音してある部分の前に録音したいときはTO TOPボタンを、後ろに録音したいときはTO ENDボタンを押します。(新しいMDの場合はどちらのボタンを押しても同じです。)

録音を終えるとMDは自動的に停止しますが、CDの再生は続きます。

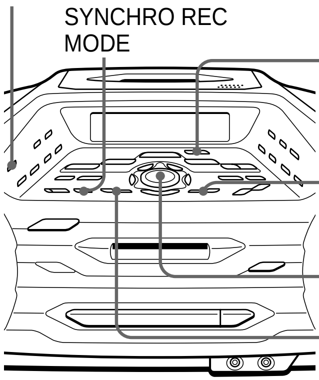
「CD>MD OK?」と足りない時間が交互に表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
再生中の曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは77ページをご覧ください。

MDに録音する

CDから好きな曲を選んで録音する
（プログラムシンクロ録音）

CDの好きな曲を好きな順番で20曲まで録音できます。



ちょっと一言

曲番を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押してから、数字／文字ボタンで曲を選び直します。

1 **録音用MDを入れる。**

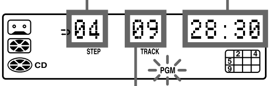
2 **録音するCDを入れ、CDの■ボタンを押す。**

3 **SHUF/PGMボタンを押して「PGM」を表示させる。**

4 **ジョグダイヤルを回して曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。**

この操作を繰り返す。

選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。



ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDの内容を消して上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 時計を合わせてあると､録音日時が自動的に記録されます（59ページ）。
- 録音中にディスク名､曲名を付けることができます。53ページをご覧ください。

5 SYNCHRO REC CD►MD**ボタンを押す。**

録音が始まります。
すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

「CD>MD OK?」と足りない時間が交互に表示されたら

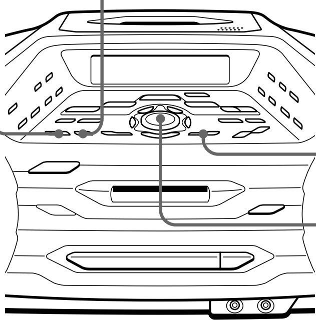
MDの録音できる残り時間が足りません。
プログラムした曲を最後まで録音できなくてもよいときは、YES•ENTERボタンを押します。録音をやめるときは、NO•CANCELボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは77ページをご覧ください。

SYNCHRO REC•MODEボタンを使って録音することもできます。

1. 手順1〜4を行う。
2. SYNCHRO REC•MODEボタンを押した後、ジョグダイヤルを回して「CD→MD」を表示させる。
   このとき、「CD→MD&TAPE」を選ぶとMDとテープに同時に録音することができます。
3. SYNCHRO REC STARTボタンを押す。

MDに録音する

テープを録音する(シンクロ録音)



ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDの内容を消して録音するには、44ページをご覧ください。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます(59ページ)。

1 **録音用MDを入れる。**

2 **カセットを入れる。**

3 **SYNCRO REC•MODEボタンを押した後、ジョグダイヤルを回して「TAPE→MD FLAT」または「TAPE→MD REVI」を表示させる。**

表示	
TAPE→MD FLAT	テープの音をそのまま録音する
TAPE→MD REVI	ヒスノイズを抑えたクリアな音で録音する

4 **高速録音する場合は、HIGH SPEEDボタンを押してランプを点灯させる。**

高速録音しない場合は手順5に進んでください。

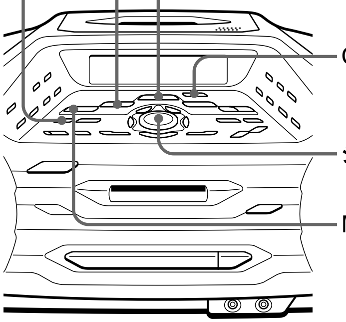
5 **SYNCHRO REC STARTボタンを押す。**

録音が始まります。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

ラジオ•CD•テープを録音する

ラジオやCD、テープをREC•REC MODEボタンを使って録音します。好きなところで録音を始めたり止めることができます。録音を一時停止することもできます。



ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 録音中は放送局を変えることはできません。一時停止して変えてください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでREC•REC MODEボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(50ページ)をご覧ください。
- 放送局が記憶されている場合(30ページ)、MDの曲名として、その放送局名が自動的に記録されます(50曲分まで)。

ラジオを録音する

1 録音したい放送局を受信する。

2 録音用MDを入れる。

3 REC•REC MODEボタン（リモコンでは●ボタン）を押す。

まだ録音は始まりません（録音待機状態）。

4 MDの►IIボタン（リモコンではMDの►またはIIボタン）を押す。

録音してある部分の終わりから録音が始まります。

録音を止めるには

MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには

MDの►IIボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。（リモコンでは、MDのIIボタンを使います。）

次のページへつづく

ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでREC•REC MODEボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(50ページ)をご覧ください。

CDを録音する

曲番(頭出しマーク)は、CDと同じところに自動的に付きます。また、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(51ページ「曲をつなぐ」参照)。

1 **CDを入れる。**

2 **CDの■ボタンを押して、CDを操作できる状態にする。**

3 **録音用MDを入れる。**

4 **REC•REC MODEボタン(リモコンでは●ボタン)を押す。**

まだ録音は始まりません(録音待機状態)。

5 **MDの▶❚❚ボタン(リモコンではMDの▶または❚❚ボタン)を押す。**

録音してある部分の終わりから録音が始まります。

6 **CDの再生を始める。**

録音を止めるには

MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには

MDの▶❚❚ボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。(リモコンでは、MDの❚❚ボタンを使います。)

ご注意

- **TOC EDIT** **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでREC•REC MODEボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」(50ページ)をご覧ください。

テープを録音する

曲番(頭出しマーク)は、約2秒以上無音や小さな音が続くと自動的に付きます。また、録音を一時停止したところでも自動的に付きます。
不要な曲番が付いた場合、録音後に消してください(51ページ「曲をつなぐ」参照)。

1 **カセットを入れる。**

2 **TAPEの■ボタンを押してテープを操作できる状態にする。**

3 **録音用MDを入れる。**

4 **REC•REC MODEボタン(リモコンでは●ボタン)を押す。**

まだ録音は始まりません(録音待機状態)。

5 **MDの►ııボタン(リモコンではMDの►またはııボタン)を押す。**

録音してある部分の終わりから録音が始まります。

6 **テープの再生を始める。**

録音を止めるには

MDの■ボタンを押す。

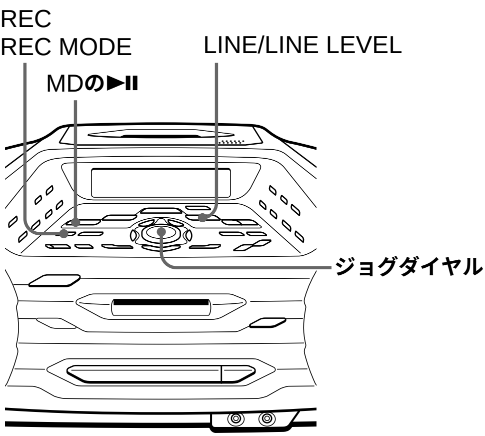
録音を一時停止するには

MDの►ııボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。
(リモコンでは、MDのııボタンを使います。)

MDに録音する

長時間録音する
（モノラル録音）

一枚のディスクに通常の録音時間の2倍録音ができます。ただし音の臨場感は損なわれますので、目的に応じて選んでください。



ご注意

- TOC EDIT **録音を止めたあと、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- 録音中は放送局を変えることはできません。一時停止して変えてください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 録音済みのMDに上書き録音するには、44ページをご覧ください。
- 録音中に曲番を付けるには、付けたいところでREC•REC MODEボタンを押します。
- 録音をしたあと曲番を付けるには「曲を分ける」（50ページ）をご覧ください。
- 放送局が記憶されている場合（30ページ）、MDの曲名として、その放送局名が自動的に記録されます（50曲分まで）。

1 録音したい音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れ、CDの■を押す。
RADIO（ラジオ）	聞きたい局を受信する。
テープ	カセットを入れ、TAPEの■を押す。
LINE(外部入力)	LINE IN端子につないだ機器の電源を入れる。 LINE/LINE LEVELボタンを押して「LINE」を表示させる。

2 録音用MDを入れる。

3 「Stereo REC」が点滅するまでREC•REC MODEボタンを押したままにする。

4 ジョグダイヤルを回して「Mono REC」を点滅させ、YES•ENTERボタンを押す。

まだ録音は始まりません（録音待機状態）。

5 MDの▶IIボタン（リモコンではMDの▶または IIボタン）を押す。

録音してある部分の終わりから録音が始まります。

6 録音する音を出す。

CDまたはテープを録音する場合はそれぞれの再生を始めます。

つないだ機器の音を録音する場合は、LINE IN端子につないだ機器の音を出します。

ちょっと一言

- MDの■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からはステレオ録音に戻ります。
- ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左右のチャンネルの音がミックスして録音されます。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。

録音を止めるには

MDの■ボタンを押す。

録音を一時停止するには

MDの▶IIボタンを押す。もう一度押すと録音が始まります。（リモコンでは、MDのIIボタンを使います。

録音済みのMDに録音する

2つの方法があります。

- 録音済みの内容を消さずに、ディスクの残り部分に録音する。
- 録音済みの内容を消して、上から録音する。

録音内容を消さずに追加録音するには

録音済みのMDを入れ、録音を始めます（10、35〜43ページ参照）。自動的に録音済み部分の後ろに録音されます。

録音できる残り時間が足りないときは

CDをまるごと録音する場合は、「CD>MD OK?」が表示されます（12ページ）。ラジオやCDを一部録音する場合は、DISPLAYボタンを押してMDの残り時間を確かめます。

録音内容を消して上書き録音するには

録音内容をすべて消して初めから録音しなおすには

まず、MDの内容をすべて消します（49ページ参照）。

そのあとは新しいMDと同じように使えます。

録音内容の途中から、消しながら録音するには

1 MDを再生し、新しく録音を始めたいところでMDの▶IIボタンを押して一時停止させる。

2 RECボタンを押して録音待機状態にする。

3 MDの▶IIボタンを押して録音を始める。

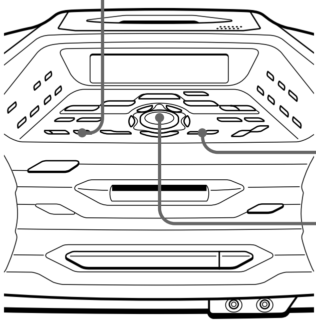
4 録音する音を出す。

ご注意

録音内容の途中から録音した場合、新しい録音部分が前の録音部分より短いと、新しい録音部分のあとには、前の録音部分の残りが残ってしまいます。それを繰り返すと細かい残り部分がたくさんできてしまうので、録音内容が不要になったら、MDの内容をすべて消してから（49ページ参照）、新たに使うことをおすすめします。

CDを録音する
（シンクロ録音）

CDをまるごとテープに録音します。



ちょっと一言

MDにも同時に録音することができます。手順3で「CD→MD&TAPE」を表示させてください。

1 **録音用カセットを入れる。**

2 **CDを入れる。**

3 **SYNCHRO REC•MODEボタンを押した後、ジョグダイヤルを回して「CD→TAPE」を表示させる。**

4 **SYNCHRO REC STARTボタンを押す。**

録音が始まります。

⇄が表示されている場合：

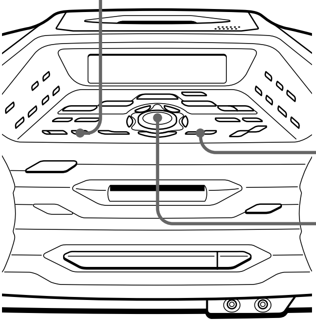
CDの曲の途中でテープが反転すると、反転後にその曲の頭から録音し直します。

⇄が表示されている場合：

テープの終わりで録音が停止します。

MDを録音する
（シンクロ録音）

MDをまるごとテープに録音します。



1 **録音用カセットを入れる。**

2 **MDを入れる。**

3 **SYNCHRO REC•MODEボタンを押した後、ジョグダイヤルを回して「MD→TAPE」を表示させる。**

4 **SYNCHRO REC STARTボタンを押す。**

録音が始まります。

⥂ が表示されている場合：

MDの曲の途中でテープが反転すると、反転後にその曲の頭から録音し直します。

⇄ が表示されている場合：

テープの終わりで録音が停止します。

編集の前にお読みください

MDでは、曲番(頭出しマーク)で曲と曲を区切っています。この曲番によって、曲の頭出しなどがすばやくできます。曲番は、録音の内容に関係なく付けられますので、音楽として1つの曲であっても、途中に曲番を付けることによって複数の「曲」に分けることもでき、逆に、複数の音楽を1つの「曲」としてまとめることもできます。

曲番の付きかたは録音のしかたや録音状況によって異なります

録音方法	曲番が付く位置
CDをまるごと録音する(10ページ)	CDと同じところ
CDをREC•REC MODEボタンで録音する(40ページ)	•CDと同じところ •録音を一時停止したところ •録音中、REC•REC MODEボタンを押したところ
ラジオを録音する(39ページ)	•録音を一時停止したところ •録音中、REC•REC MODEボタンを押したところ
テープや他の機器から録音する(41、69ページ)	•約2秒以上の無音かまたは小さい音が続いたとき •録音を一時停止したところ •録音中、REC•REC MODEボタンを押したところ

曲番は、録音後も、MD編集によって消したり付けたりすることができますので、テープや他の機器から録音したときなど、思ったところに曲番が付いていない場合には、直してください。

曲番を正しく直すには

- 曲番を消すには → 「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(51ページ):曲番を消すことによって、前後の「曲」が1つの「曲」になります。
- 曲番を追加するには → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(50ページ):曲番を追加することによって、1つの「曲」が2つの「曲」に分けられます。

こんなこともできます

- 「曲」を消す → 「曲を消す(イレース機能)」(48ページ)
- ディスクの内容を全部消す → 「曲を消す(イレース機能)」(48ページ)
- 曲順を入れ変える → 「曲を移動する(ムーブ機能)」(52ページ)
- 好きなところを頭出しする → 「曲を分ける(ディバイド機能)」(50ページ)
- 好きなところをつないでメドレーにする→「曲を消す(イレース機能)」(48ページ)と「曲をつなぐ(コンバイン機能)」(51ページ)

ご注意

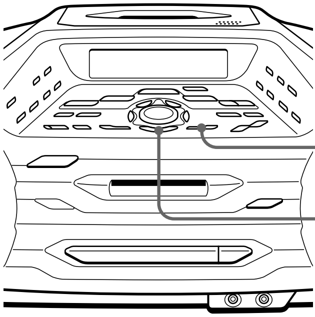
TOC EDIT

編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

MD編集

曲を消す
（イレース機能）

録音した曲を瞬時に消したり、曲の中の不要な部分だけを消すことができます。また、カセットテープのように消した部分が無音のまま残ることもありません。
曲を消す方法には3種類があります。
- 1曲ずつ消す
- 1枚のMDのすべての内容を消す
- 曲中の一部分を消す



ご注意

- 「Protected」が表示されたら、そのディスクは誤消去防止状態になっています（71ページ）。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 正しく記録されないことがあります。

1曲ずつ消す

1曲まるごと消せます。曲を消すと、次の曲が順に繰り上がり、自動的に連続した曲番が付きます。

1 消したい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Erase」を点滅させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Erase 003 OK?」が表示され、1曲リピート再生になります。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、再生中の曲が消えます。

ご注意

TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

1枚のMDのすべての内容を消す

一度に、MDの中の全曲と全曲名、ディスク名を消すことができます。消したあとは新しいMDと同じように使えます。

1 **停止中、EDITボタンを繰り返し押して「All Erase」を点滅させる。**

2 **YES•ENTERボタン押す。**

「All Erase OK?」が表示されます。いったん消すと元に戻りません。もう一度確認してください。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

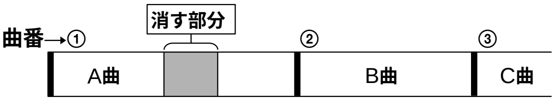
3 **YES•ENTERボタンを押す。**

「TOC EDIT」が消えたあと、「Blank Disc」が表示され、入れてあるMDの内容がすべて消えます。

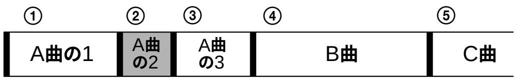
曲中の一部分を消す

「曲を分ける」(50ページ)、「曲を消す」(48ページ)、「曲をつなぐ」(51ページ)の3つの機能を組み合わせて使い、1曲中の一部分だけを消すことができます。

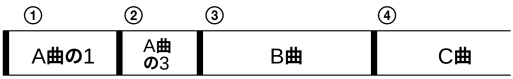
例)A曲の一部分を消します。



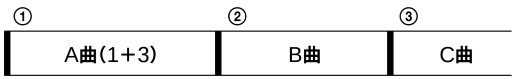
1 **A曲を分ける(50ページ)**



2 **A曲の2を消す(48ページ)**

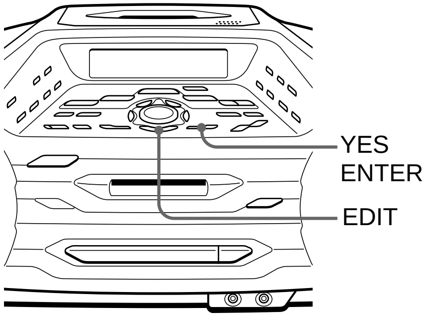


3 **A曲の1とA曲の3をつなぐ(51ページ)**



曲を分ける
（ディバイド機能）

テープや他の機器からの録音では、正しく曲番が付かないことがあります。このため、1つの曲番のなかに複数の曲が入ることがあります。これをいくつかの曲に分け、それぞれに頭出しのための曲番を付けることができます。分けた曲以降の曲番は自動的に連続した曲番が付きます。



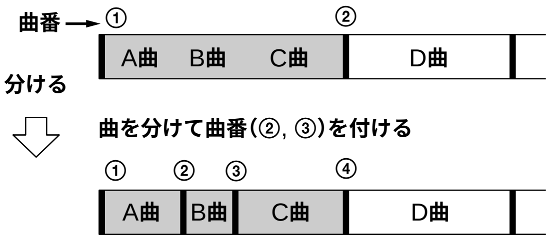
ちょっと一言

- 一度分けた曲を元に戻すには「曲をつなぐ」(51ページ)をご覧ください。
- 録音中に曲を分けるには
  録音中、曲番を付けたいところでREC•REC MODEボタンを押します。

ご注意

- 「Sorry」が表示されたらその曲を分けることはできません。
  MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくことがあります。これは、MDのシステム上の制約(78ページ)で、故障ではありません。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

例)1つの曲番① にA、B、Cの3曲が入っているとき



1 **再生中、曲を分けるところでMDの▶IIボタンを押す。**

再生一時停止状態になります。

2 **EDITボタンを繰り返し押して「Divide」を点滅させる。**

3 **YES•ENTERボタンを押す。**

「Divide OK?」が表示されます。

中止するときは

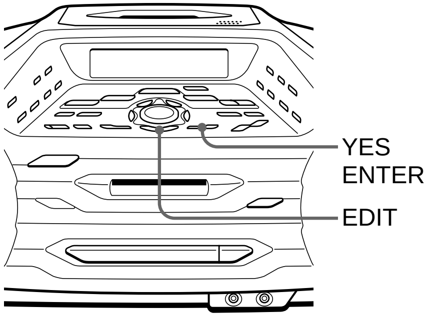
NO•CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

4 **YES•ENTERボタンを押す。**

「Complete」が数秒間表示され、曲が分かれます。分ける前に付いていた曲名は、前の曲だけに付き、後の曲には曲名が付きません。

曲をつなぐ
（コンバイン機能）

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめることができます。何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたり、不要な曲番を取ったりするときにお使いください。つないだ曲以降の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



MD編集

例）B曲とC曲をつなぐ



1 つなぐ曲を再生する。

例えばB曲とC曲をつなぐときは、C曲を再生します。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Combine」を点滅させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「Combine OK?」が表示され、再生一時停止になります。

中止するときは

NO•CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

4 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、曲がつながります。つないだ2曲両方に曲名が付いている場合は後の曲名が消えます。

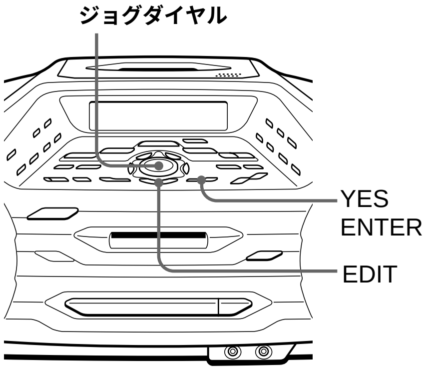
ご注意

- 「Sorry」が表示されたら、その2曲はつなぐことができません。
MDは何度も編集を繰り返すと、つなげなくなることがあります。これはMDのシステム上の制約（78ページ）で、故障ではありません。
- 「Cannot Edit」が表示されたら、MDの1曲目でコンバインされようとしています。コンバイン機能は使えません。
- TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

曲を移動する

（ムーブ機能）

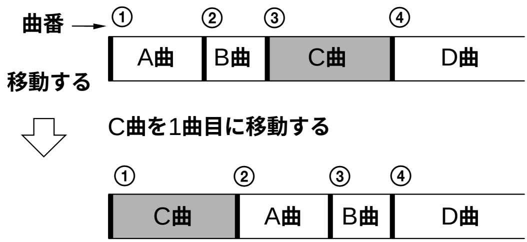
ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に連続した曲番が付きます。



ご注意

TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

例）C曲を1曲目に移動する



1 移動させたい曲を再生する。

2 EDITボタンを繰り返し押して「Track Move」を点滅させる。

3 YES•ENTERボタンを押す。

「→Track 003?」が表示され、1曲リピート再生になります。

4 ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

「003→→→001」が表示されます。

中止するときは

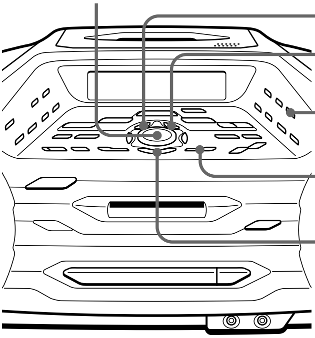
NO•CANCELボタンまたはMDの■ボタンを押します。

5 YES•ENTERボタンを押す。

「Complete」が数秒間表示され、曲が移動します。

ディスク名や曲名を付ける
（ネーム機能）

録音中または録音後に、ディスク名や曲名を記録することができます。
1枚のディスクにはアルファベット/数字/記号で最大約1700文字、カタカナ文字のみで最大約800文字まで入力できます。



録音中に付ける

CDから録音するとき、シンクロ録音（10ページ）、プログラムシンクロ録音（36ページ）中にはディスク名や曲名が、REC IT録音（35ページ）中には曲名のみが付けられます。テープから録音するときはシンクロ録音（38ページ）中にディスク名のみが付けられます。

CDからのシンクロ録音、プログラムシンクロ録音の場合

ディスク名や曲名をそれぞれ40文字まで付けられます。曲名は25曲目まで記録できます。26曲目以降は録音後に付けてください（57ページ参照）。

1 録音中にEDITボタンを押して「Disc Name」または「Track Name」を選びYES•ENTERボタンを押す。

ディスク名を付ける場合：「Disc Name」

曲名を付ける場合：「Track Name」

2 曲名を付ける場合は、ジョグダイヤルを回してCDの曲番を選び、YES•ENTERボタンを押す。
ディスク名を付ける場合は、手順3へ進む。

ちょっと一言

CDテキスト対応のCDを録音しているときは、曲名が文字入力時に表示されます。必要があれば54ページの手順3にしたがって名前を変更してから、YES•ENTERボタンを押して確定してください。
CDテキストの曲名はYES• ENTERボタンで確定しないとMDには記録されません。

次のページへつづく

ディスク名や曲名を付ける(ネーム機能)(つづき)

入力できる文字

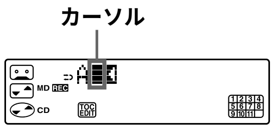
- **カタカナ**
  アイウエオ……ャユヨッ
  ゛ ゜ ’, / : ␣ (スペース)
- **アルファベット大文字**
  ABCD……WXYZ ’, / :
  ␣ (スペース)
- **アルファベット小文字**
  abcd……wxyz ’, / :
  ␣ (スペース)
- **数字・記号**
  0123456789!"#$%&()*
  .;<=>?@_` +− ’,/:
  ␣ (スペース)

ご注意

TOC EDIT **編集後、「TOC EDIT」が点滅しているときは、電源コンセントを抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

3 ジョグダイヤルで文字を入力する。

ジョグダイヤルを左右に回して文字を選び、⇨ボタンでカーソルを右に移動させます。



ジョグダイヤルのほかに使えるボタンと機能は以下のとおりです。

ボタン	機能
DISPLAY	カタカナ→アルファベット大文字→アルファベット小文字→数字と記号の順に切り替わる。
⇦、⇨	カーソルを左右に移動する。
REPEAT	カタカナ入力時、「ア」→「カ」→「サ」→「タ」…の順に文字が変わる。 戻すには、SHUF/PGMボタンを押す。
DEL	カーソル位置の文字を削除する。
INS	カーソル位置に空白を挿入する。

4 手順3を繰り返し、名前を付ける。

5 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

ディスク名または曲名が記録されます。

リモコンでの文字入力について

リモコンの数字／文字ボタンの各ボタンに文字が割り当てられ、ボタンを押すたびに以下の順に文字が変わります。カタカナ入力とアルファベット・数字・記号入力を切り替えるにはDISPLAYボタンを押します。

リモコンのボタン	カタカナ入力	アルファベット・数字・記号入力
1**ア**	ア→イ→ウ→エ→オ→ォ←ェ←ゥ←ィ←ァ←	1
2**カ**ABC	カ→キ→ク→ケ→コ	A→B→C→a→b→c→2
3**サ**DEF	サ→シ→ス→セ→ソ	D→E→F→d→e→f→3
4**タ**GHI	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	G→H→I→g→h→i→4
5**ナ**JKL	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	J→K→L→j→k→l→5
6**ハ**MNO	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	M→N→O→m→n→o→6
7**マ**PQRS	マ→ミ→ム→メ→モ	P→Q→R→S→p→q→r→s→7
8**ヤ**TUV	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	T→U→V→t→u→v→8
9**ラ**WXYZ	ラ→リ→ル→レ→ロ	W→X→Y→Z→w→x→y→z→9
0/10**ワヲン**	ワ→ヲ→ン	0
>10 ゛ ゜	゛→゜	――
記号	!→"→#→$→%→&→(→)→*→.→;→<→= ←:←/←,←'←-←+←`←_←@←?←>←	

CDからのREC IT録音の場合
曲名のみ100文字まで記録できます。

ちょっと一言
CDテキスト対応のCDを録音しているときは、文字入力時に曲名が表示されます。必要があれば54ページの手順3にしたがって名前を変更してから、YES•ENTERボタンを押して確定してください。CDテキストの曲名はYES•ENTERボタンで確定しないとMDには記録されません。

1 録音中にEDITボタンを押す。

曲名入力表示になります。

2 54ページの手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

3 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

曲名が記録されます。

テープからのシンクロ録音の場合
ディスク名のみ100文字まで記録できます。

1 録音中にEDITボタンを押す。

「Disc Name」が表示されます。

2 YES•ENTERボタンを押す。

ディスク名入力表示になります。

3 54ページの手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

4 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

ディスク名が記録されます。

録音後に付ける

録音後にディスク名や曲名を付けるには、次のように操作します。それぞれ100文字まで付けられます。

1 ディスク名の場合：MDを入れて停止状態にする。曲名の場合：曲名を付けたい曲を再生する。

2 EDITボタンを押して「Disc Name」または「Track Name」を選び、YES•ENTERボタンを押す。

ディスク名を付ける場合：「Disc Name」

曲名を付ける場合：「Track Name」

3 54ページの手順3〜4にしたがって、名前を付ける。

4 名前を付け終わったらYES•ENTERボタンを押す。

ディスク名または曲名が記録されます。

名前を変更するには

手順1を行なって、変更したいディスク名または曲名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、YES•ENTERボタンを押します。

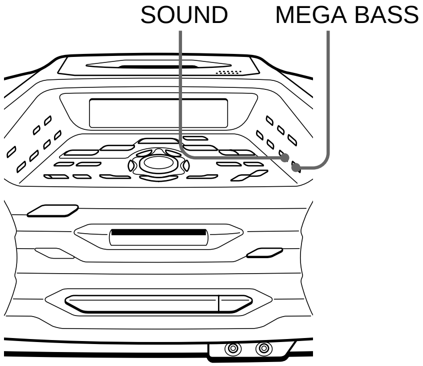
ちょっと一言

すでにディスク名や曲名が記録されているMDのときは、文字入力時にディスク名や曲名が表示されます。必要があれば54ページの手順3にしたがって名前を変更してから、YES•ENTERボタンを押して確定してください。

MD編集

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。



サウンド効果を楽しむ

SOUNDボタンを押す。
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

表示	音質
Rock	**ロックなどに** 重低音と高音域を増強し､メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
Pop	**ポップスなどに** 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
Jazz	**ジャズなどに** 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
Vocal	**ボーカルを聞きたいときに** 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
Flat	**クラシックなどに** ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

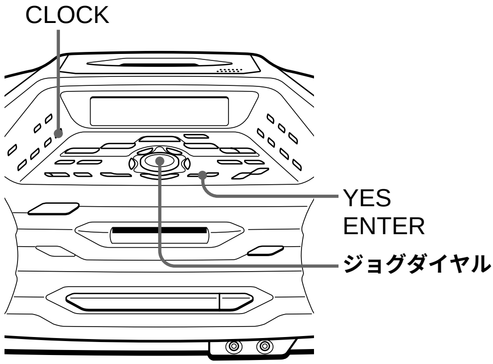
迫力ある重低音を楽しむ

MEGA BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定を選ぶ：

MEGA BASS On → MEGA BASS On →
MEGA BASS On → MEGA BASS Offと変わります。

時計を合わせる

本機の時計表示は、時計を合わせるまで「– –y – –m – –d」「– –:– –」のままです。時計を合わせておくと、録音したとき、自動的に録音日時が記録されます（12、35、37、38ページ）。



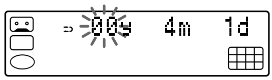
ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中：「AM12:00」
  正午　：「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス（117番）をご利用になると便利です。
- 時計合わせは、本機の電源の入、切に関係なく設定できます。

時計表示を出すには

CLOCKボタンを押します。もう一度押すと年月日表示になります。元の表示に戻すには、もう一度CLOCKボタンを押します。電源が切れているときは、時計表示が表示されます。

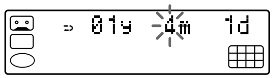
1　西暦年の数字が点滅するまで、CLOCKボタンを押したままにする。



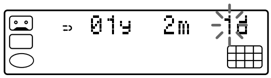
2　年月日を合わせる。

例）2001年2月14日の場合

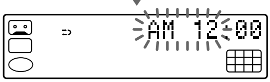
① ジョグダイヤルを回して「年」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。



② ジョグダイヤルを回して「月」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。



③ ジョグダイヤルを回して「日」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。

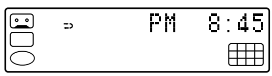


3　時刻を合わせる。

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES•ENTERボタンを押す。

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせる。

4　YES• ENTERボタンを押す。

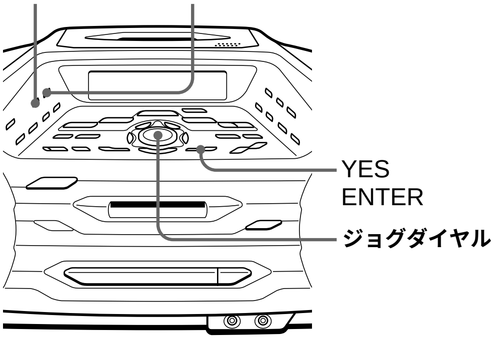


00秒から時計が動きます。

タイマー

音楽で目覚める

タイマー機能を使って、好きなCDやMD、テープ、ラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください(59ページ参照)。



ご注意

- 目覚ましタイマーとラジオの留守録音(63ページ)は同時に予約できません。
- LINE IN端子につないだ機器の音を聞くときは、つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

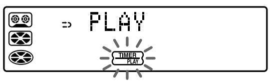
表示窓に「TIMER」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
MD	MDを入れる。
CD	CDを入れる。
TAPE(テープ)	カセットを入れる。
RADIO(ラジオ)	聞きたい局を受信する。
LINE(外部入力)	LINE IN端子につないだ機器の電源を入れる。

2 TIMERボタンを押す。

「TIMER」が点滅します。



このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

3 ジョグダイヤルを回して「PLAY」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

「MD」「CD」「TAPE」「RADIO」「LINE」のいずれかが点滅します。

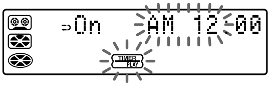
4 ジョグダイヤルを回して聞きたい音源(「MD」、「CD」、「TAPE」、「RADIO」、「LINE」)を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。

5　再生を始める時刻を設定する。

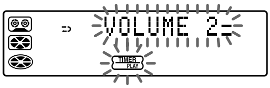
① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES• ENTERボタンを押す。



② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、YES• ENTERボタンを押す。

6　同じように再生を止める時刻を設定する。

7　ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。



ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏲はタイマーで動作中であることを示す表示です。

8　STANDBYボタンを押す。

「TIMER PLAY」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMERボタンを押してから、YES•ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

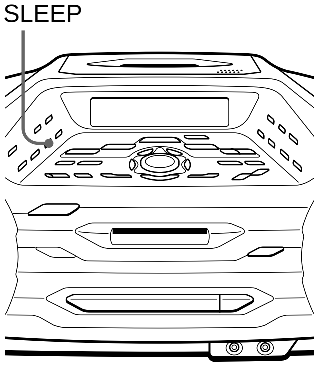
予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合60ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、別の局が始まります。）予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー再生を途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る（スリープ機能）



指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

ちょっと一言

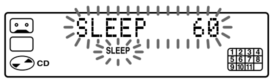
- 目覚ましタイマーとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましタイマーを予約待機状態にしてから（60ページ参照）、電源を入れスリープ機能を働かせます。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましタイマーとスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

1　聞きたい音楽の演奏を始める。

2　SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

3　SLEEPボタンを押して時間（分）を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。



SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

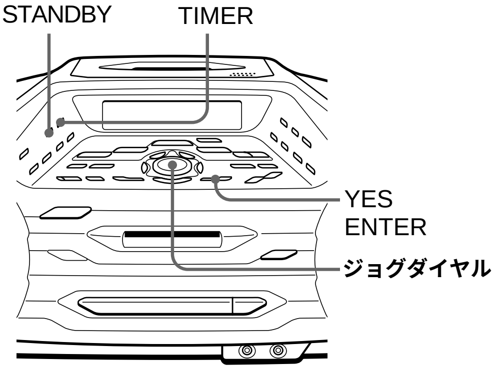
スリープ機能を途中で止めるには

SLEEPボタンを押して、「SLEEP」を消します。

スリープ時間を変更するには

手順2からやり直してください。

留守中にラジオを録音する



留守中や深夜など、その場で録音できないときにタイマーを使って録音できます。LINE IN端子につないだ機器からも録音できます。
本機の時計合わせを行ってから操作してください(59ページ参照)。

ご注意

- ラジオの留守録音と目覚ましタイマー(60ページ)は同時に予約できません。
- LINE IN端子につないだ機器から録音するときは、つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

ちょっと一言

設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。

表示窓に「TIMER」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 録音したい放送局を受信し、録音用MDまたはカセットを入れる。

2 TIMERボタンを押す。

「TIMER」が点滅します。

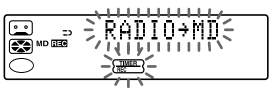


このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。

3 ジョグダイヤルを回して「Stereo REC」または「Mono REC」を点滅させ、YES•ENTERボタンを押す。

4 ジョグダイヤルを回して「RADIO→MD」または「RADIO→TAPE」を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。

LINE IN端子につないだ機器から録音するときは、「LINE→MD」または「LINE→TAPE」を表示させ、YES•ENTERボタンを押します。

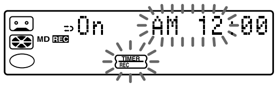


次のページへつづく

留守中にラジオを録音する（つづき）

5 録音を始める時刻を設定する。

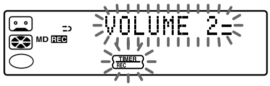
① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、YES• ENTERボタンを押す。



② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、YES• ENTERボタンを押す。

6 同じように録音を止める時刻を設定する。

7 ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、YES•ENTERボタンを押す。



8 STANDBYボタンを押す。

「TIMER REC」が表示され予約待機状態になります。テープに録音するときは、録音されるテープ面表示（上面►または反対面◄）が表示されます。録音される面を切り換えるには、もう一度スタンバイボタンを押します。

予約した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に録音が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「TIMER REC」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏻はタイマーで動作中であることを示す表示です。

予約した内容を確かめたり、変更するには

TIMERボタンを押してから、YES•ENTERボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

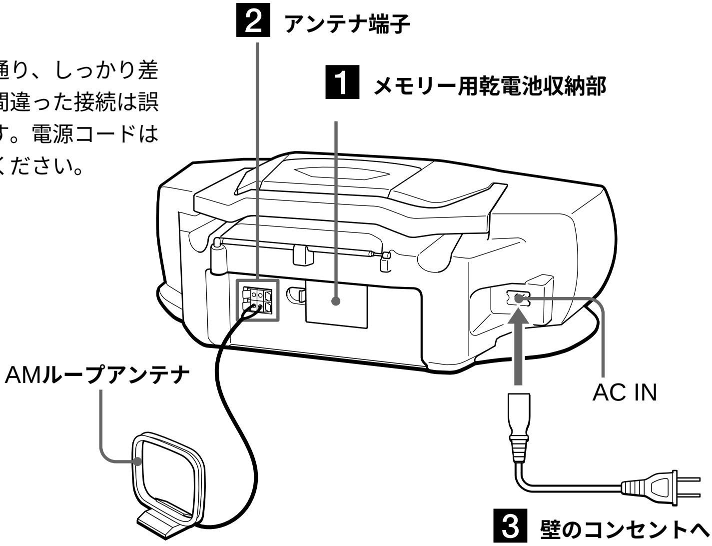
電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合63ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、別の局が始まります。）予約した時刻になる前に電源を切ります。

タイマー録音を途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ります。

接続する

コードは下の手順の通り、しっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。電源コードは必ず最後に接続してください。

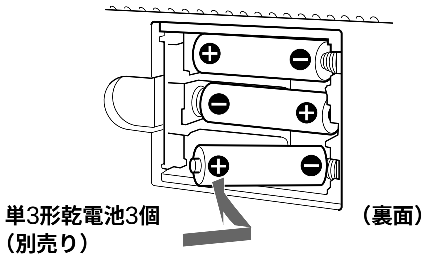


ご注意

電源コードを抜いたり乾電池を取り出す前に、必ず電源を切ってください。

1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。



乾電池の交換について

乾電池は約1年もちます。
1年をめやすに乾電池をすべて新しいものと交換してください。

次のページへつづく

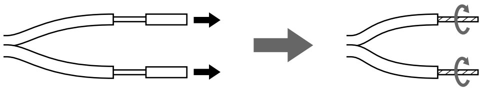
準備

ご注意

AMループアンテナはできるだけ本体から離してください。雑音の原因になります。

2 アンテナを接続する

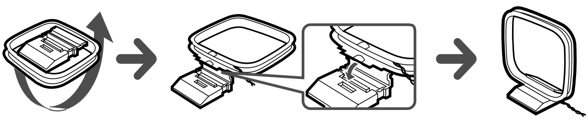
1 AMループアンテナのコードの先の被覆を取り除き、導線部分をねじる。



2 導線部分をアンテナ端子につなぐ。



AMループアンテナを組み立てるには



ちょっと一言

電源コードの極性(コンセントにプラグを差し込む向き)により音質が微妙に変わることがあります。好みの向きでお使いください。

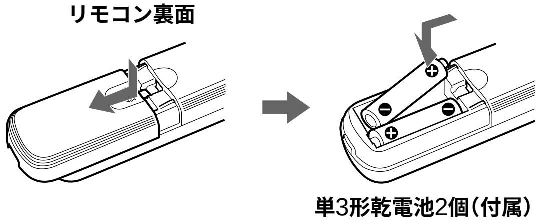
3 電源コードを接続する

本機のAC INジャックに差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

デモンストレーションについて

電源コードを接続してから約10秒たつとデモモードになり、「DEMO MODE」「CYBER REC NAVI」などデモンストレーションの表示が現れます。
電源を入れて約1分間何も操作しない場合もデモモードに入ります。
デモモードをやめるには、本機の時計合わせを行ってください(59ページ)。

4 リモコンに乾電池を入れる

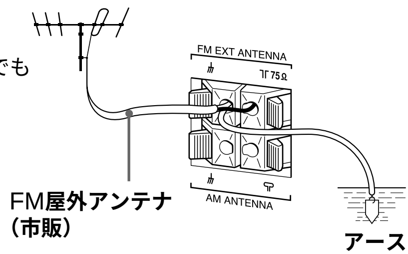


乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

FM放送の受信状態を良くするには

FM屋外アンテナ（市販）をつなぎます。
分配器を使えば、テレビアンテナでも代用できます。



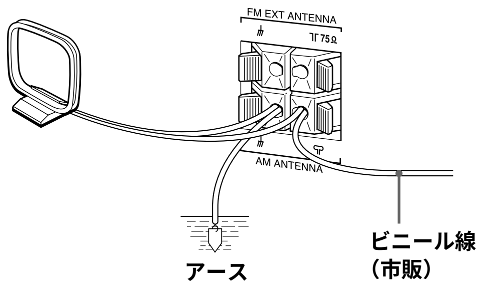
ご注意

市販のビニール線を屋外に張ったときは、雷による危険を防ぐために⏚表示のある端子にアースをつないでください。

市販のビニール線を⏚表示のある端子につなぎ、もう一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めます。または鋼管製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険です。絶対にやめましょう。

AM放送の受信状態を良くするには

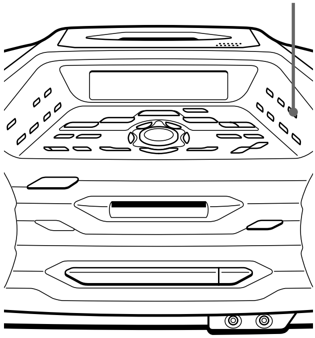
6〜15mのビニール線（市販）をつなぎます。窓際や屋外になるべく水平に張ると効果的です。付属のAMループアンテナをはずす必要はありません。



準備

低消費電力待機モードに切り換える

電源を切った状態でも、本機は時計表示、タイマー動作、リモコン受信のために通常約6.2Wの電力を消費しています。この消費電力を1W未満におさえ、電力を節約することができます（低消費電力待機モード）。

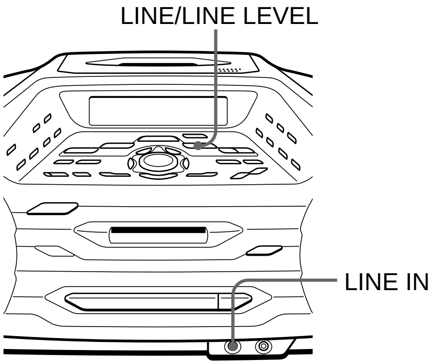


電源を切った状態でDISPLAYボタンを約2秒間押す。

低消費電力待機モードに切り換わり、表示窓の時計表示が消えます。

時計を表示させたいときは、電源を切った状態でもう一度DISPLAYボタンを約2秒間押します。

他の機器をつないで使う



テレビやビデオの音などを本機のスピーカーで聞くことができます。
他の機器と接続するときは電源を切ってください。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

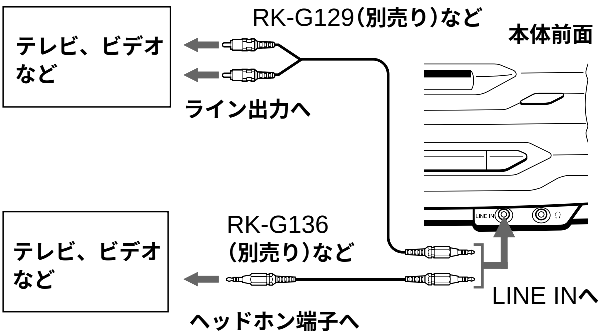
ご注意

接続コードはしっかり差し込んでください。誤動作の原因になります。

ちょっと一言

MDに録音中、約2秒無音状態が続くと、曲番(頭出しマーク)が自動的に付きます。

テレビやビデオの音を聞く



接続が終わったら、電源を入れ本体上面のLINE/LINE LEVELボタンを押して「LINE」を表示させます。

つないだ機器の音を録音するには

1 録音用MDまたは録音用カセットを入れる。
2 本体上面のLINE/LINE LEVELボタンを押して「LINE」を表示させる。
3 MDのREC•REC MODEボタンまたはTAPEのREC/REC PAUSEボタンを押す。
まだ録音は始まりません(録音待機状態)。
4 MDの►IIボタンまたはテープの►ボタン(または◄ボタン)を押す。
録音が始まります。
5 LINE IN端子につないだ機器の音を出す。

つないだ機器の音が大きすぎるときは

LINE/LINE LEVELボタンを繰り返し押して、「Level : High」を表示させてください(通常は「Level: Normal」)。
または、つないだ機器の音量を小さくしてください。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 持ち運びの際は、取っ手をしっかり持ってください。みぞに指を入れて持つと、爪などを傷めることがあります。
- CDトレイを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。

  — 時計

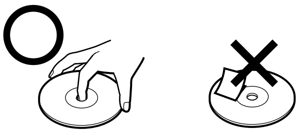
  — クレジットカードなどの磁気カード

  — カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くにはおかないでください。テレビの画像が乱れることがあります。

CDの取り扱いかた

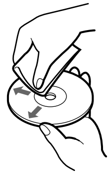
- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



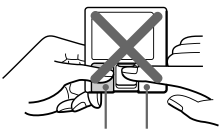
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。



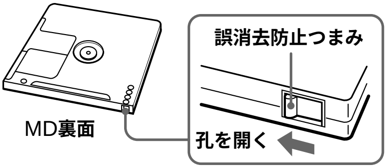
MDのお手入れのしかた

定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

録音内容を間違って消さないために

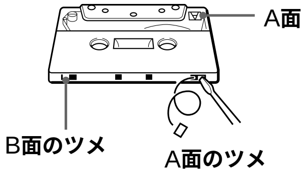
誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。

再び録音するときは、つまみを元に戻します。

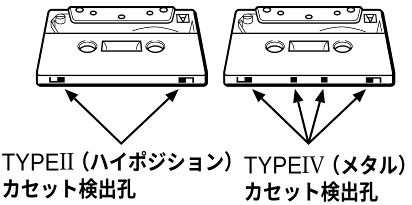


大切な録音を守るーカセットの誤消去防止

カセットのツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



TYPEII（ハイポジション）またはTYPEIV（メタル）カセットの穴をふさぐときは、間違って検出孔をふさがないように注意してください。検出孔をふさぐとテープ自動検出機能（ATS）が正しく働きません。



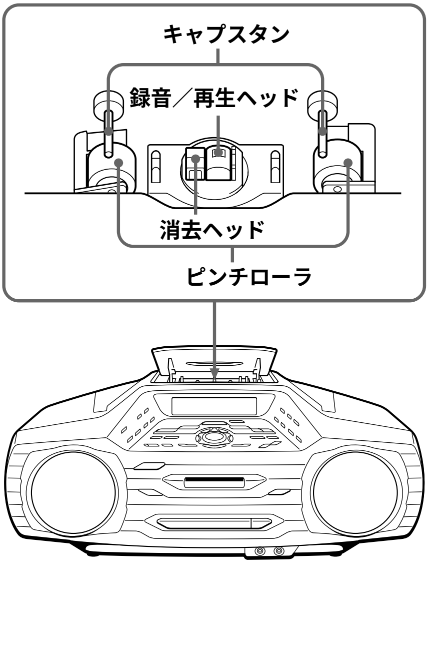
長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。より良い音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。
カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音／再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

	症状	チェック項目
共通	音が出ない。	• POWERボタンを押して電源を入れる。 • 電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧ジャックから抜く。 • 「TOC Reading」が消えるまで待つ。
	テレビに色むらが起こる。	• 本機をテレビから離す。
	表示窓にいろいろな表示が次々と出てくる。	• デモモードになっている。→時計合わせをして、通常の状態に戻す。
	雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している →携帯電話などを本機から離して使用する。
CD部	再生が始まらない。	• CDトレイが閉まっていることを確認する。
	CDが入っているのに「No Disc」が表示される。	• CDが裏返し。→文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい。→クリーニングする。(70ページ) • レンズに露(水滴)がついている。 →CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • 本機ではCD-RWを再生できません。
	音がとぶ。 雑音が入る	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。→クリーニングする。(70ページ) • CDに傷がある。→CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • パソコンなどで記録したCD(CD-Rなど)は、音がとんだり雑音が入ることがあります。
MD部	MDが途中で取り出せない。	• いったんMDを押し込んでから⏏MD EJECTボタンを押して取り出す。
	「Disc Error」が表示され、操作を受け付けない。	• MDが汚れているか損傷している。→新しいMDと交換する。
	再生経過時間や残り時間が「– – –:– –」と表示される。	• 本機は159分59秒までしか表示できません。それより長い時間の場合は「– – –:– –」が表示されます。
	再生できない。	• レンズに露(水滴)がついている。 →MDを取り出して数時間置く。 • MDを入れる方向が違う。 →MDを矢印の向きに入れる。 • 何も録音されていないMDが入っている。 →録音済みのMDと交換する。

次のページへつづく

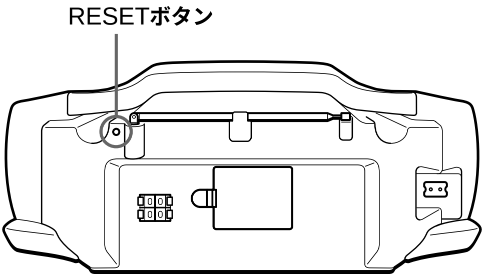
	症状	チェック項目
MD部	録音できない。	• MDが誤消去防止状態になっている。（「Protected」が表示されている） →MDの誤消去防止つまみを戻して穴を閉じる。 • その曲が誤消去防止状態になっている。（「Trk Protect」が表示されている） →誤消去防止状態にしたMDレコーダーで解除する。 • 音源と正しく接続されていない。 →接続し直す。 • 再生専用MDが入っている。（「PB DISC」が表示されている） →録音用MDと交換する。 • MDの録音できる残り時間が足りない。 →不要な曲を消すか、別のMDと交換する。 • 録音中や「TOC EDIT」表示中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 →初めから録音し直す。
	高速録音できない。	• 一度高速録音した曲は、その後74分間は高速録音できません。 • MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音はできません。
	録音した音がとぶ。	• 録音したときの音量が大きかった。 →音量を下げて録音する。
	高速録音したはずの曲が録音できていない。	• 曲の途中で録音を止めると、その曲は録音していないことになります。
ラジオ部	雑音が入る。	• テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 • AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 • このラジオ（チューナー）のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。 • AMループアンテナを本体の近くに置いて使うと雑音が入ることがあります。特に録音のときに入りやすいので、アンテナを本体から離してください。

	症状	チェック項目
ラジオ部	ステレオにならない。	• MONO/ST ISSボタンを押して、「Stereo」を表示させる。（17ページ） • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。 • ステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。（17ページ）
テープ部	操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。
	録音ができない。	• デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。（71ページ） • テープの■ボタンを押してテープの操作ができるようにする。
	前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。（72ページ） • TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）テープを使っている→録音できるテープはTYPE I（ノーマル）のみです。
	雑音が多い。音質が良くない。	• ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。（72ページ） • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。（72ページ）
	再生中に一時停止ができない。	• 一時停止ができるのは、録音時のみです。
タイマー（時計）部	タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。（59ページ） • 停電があった。 • 「TIMER」表示が出ていることを確認する。 • タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。→設定時刻を合わせ直す。
リモコン	リモコンで操作ができない。	• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（67ページ） • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

次のページへつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。**上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、一度電源コードをコンセントから抜いて、約20秒後に再度差し込んでください。それでも正常でないときは、本体後面にあるRESETボタンを先のとがったもので押してください**(時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください)。それでもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。



エラーメッセージ一覧

本機を使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

メッセージ	意味
Blank Disc	何も録音されていない録音用MDが入っている。
Cannot Edit	MDの1曲目でコンバイン機能を使おうとした。
Disc Error	異常なMD（損傷している、録音や編集の内容などの情報が入っていない）が入っている。
Disc Full	MDの残り時間が少ないため、録音できない。曲がいっぱいでこれ以上録音、編集できない。「MDのシステム上の制約について」（78ページ）
Error	プログラム再生で21曲プログラムしようとした。プログラムは20曲までできる。 時計合わせをしていないのに、タイマー機能のスタンバイボタンを押した。
Name Full	記憶済みの曲名、ディスク名がいっぱいで入力できない。曲名やディスク名はそれぞれ100文字まで入力できる。1枚のディスクには、アルファベット/数字/記号で最大約1700文字、カタカナのみで最大約800文字まで入力できる。
No Disc	MDまたはCDが入っていない。
No MD	MDが入っていない。（シンクロ録音などの場合）
No Tape	カセットが入っていない。（シンクロ録音などの場合）
PB Disc	再生専用ディスクが入っている。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。
SHUF/PGM NG!	CDのシャッフル再生をMDに録音することはできません。 CDのプログラム再生をMDに高速録音することはできません。
Sorry	MDのシステム上の制約により、編集することはできません。（78ページ）
Trk Protect	他のMDレコーダーでトラックプロテクト（曲の誤消去、編集防止機能）をかけた曲を録音や編集しようとした。
No Text	CDテキスト対応のCDの中で、テキスト情報の入っていない曲を選んだ。

MDのシステム上の制約について

MD（ミニディスク）システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

255曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく捜し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり255曲になると、録音できなくなります。

さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の曲番を消して前の曲をつなぐことはできません。

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない場合がある。

通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大6秒短くなります。

編集した曲を再生、または早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

一度高速録音した曲は、74分間は再び高速録音できない。

一度高速録音した曲を74分以内に高速録音しようとすると、通常の速度で録音されます。一枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタルオーディオとは、音声信号を数値（デジタル）でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）などがこれにあたります。
これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。
本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1
市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2
市販のアナログ音楽ソフト（アナログレコードやミュージックカセットテープ）や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、
コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

＊ コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下(EIAJ*)
周波数特性	20～20,000Hz+1/－2dB (EIAJ)

ラジオ部

受信周波数	FM/TV:76～108MHz (1、2、3CH) AM: 531～1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: AMループアンテナ

MDプレーヤー部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー (λ＝785nm)
録音再生時間	ステレオ録音時：最大80分 (MDW-80使用時) モノラル録音時：最大160分 (MDW-80使用時)
回転数	約400rpm～900rpm(CLV)
エラー訂正方式	アドバンスド クロスインターリーブ リード ソロモンコード(ACIRC)
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	アダプティブ トランスフォーム アコースティックコーディング(ATRAC)
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20～20,000Hz+1/－2dB
ワウ・フラッター	測定限界以下

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
早巻き時間	約130秒 (ソニーカセットテープC-60 使用)
周波数範囲	TYPEⅠ (ノーマル) カセット: 50ー15,000Hz (EIAJ)

共通部

入力端子	LINE IN(ステレオミニジャック)1個 最小入力レベル 436mV/870mV
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16～68Ω
実用最大出力	5W+5W (EIAJ*/2.8Ω)
スピーカー	フルレンジ:10cm、コーン型 2.8Ω、2個
電源	本体 家庭用電源(AC100V 50/60Hz) メモリー用 単3形乾電池　3個使用 (DC4.5V) リモコン部 単3形乾電池　2個使用 (DC3V)
消費電力	33W
最大外形寸法	約538×206×316mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部を含む)(EIAJ)
質量	約6.4kg
付属品	リモコン (1) リモコン用単3形乾電池 (2) AMループアンテナ (1) 電源コード (1) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
MDR-CD380、MDR-D55
MDR-IF520RK

オーディオ接続コード
RK-G129、RK-G136

MDファイリングボックス
CK-MD10

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* EIAJ(日本電子機器工業会)規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

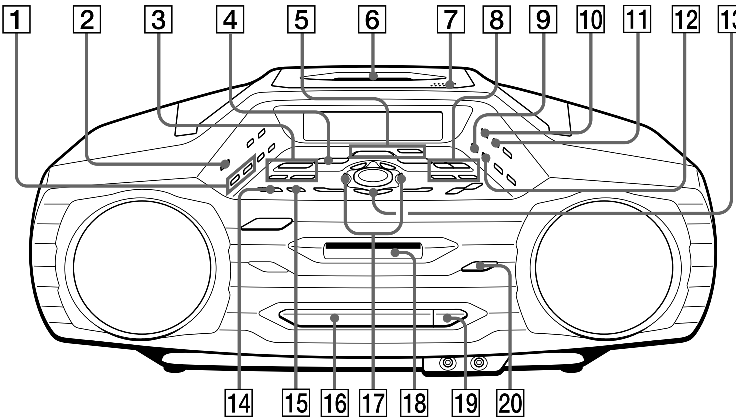
部品の保有期間について

当社ではパーソナルミニディスクシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面：MD/CD/テープ/ラジオ部



本体前面：MD/CD/テープ/ラジオ部

1 REC ITボタン：
TO TOP (35)、TO END(35)

2 SYNCHRO REC CD►MDボタン
(11、37)

3 MD操作ボタン
►II（再生／一時停止）(14、21、39～41、43)
REC•REC MODE (録音・録音モード)
(39～42)
■（停止）(12、15、20)

4 RADIO BANDボタン(16、30)

5 CD操作ボタン
►II（再生／一時停止）(8、9)
■（停止）(9、10、12)

6 カセットぶた(18、20)

7 ⏏ PUSH OPEN/CLOSE(18、20)

8 TAPE操作ボタン
◄／►（再生／一時停止）(18、21)
REC/REC PAUSE (録音／録音一時停止)（21）
■（停止）(19、21)

9 REPEAT•MONO/ST ISSボタン
(17、26、28)

10 COUNTER RESETボタン(19)

11 DIR MODE（反転モード）ボタン(19)

12 SHUF/PGM•AUTO PRESETボタン
(26、27、28、30)

13 EDITボタン（48～53、56、57）

14 SYNCHRO REC•HIGH SPEED ボタン(11、35、38)

15 SYNCHRO REC•MODE ボタン(13、37、38、45、46)

16 CDトレイ(8、10)

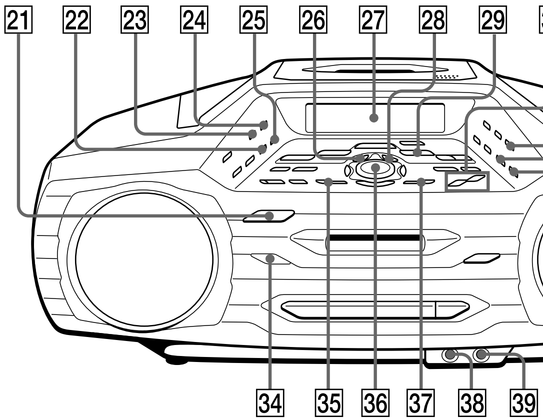
17 TUNE＋、►►I（AMS/サーチ）、⇨
TUNE－、I◄◄（AMS/サーチ）、⇦
ボタン（16、25、31、54）

18 MD挿入部(10、14)

19 ⏏ CD OPEN/CLOSEボタン(8、10)

20 ⏏ MD EJECT（MD取り出し）ボタン
(15)

本体前面：タイマー•共通部



本体前面：タイマー•共通部

21 POWER（電源）ボタン（9、12、15、17、19）

22 SLEEPボタン(62)

23 STANDBYボタン(61、64)

24 TIMERボタン(60、63)

25 CLOCKボタン(59)

26 DEL（削除）ボタン(31、54)

27 表示窓(22～24)

28 INS（挿入）ボタン(31、54)

29 LINE/LINE LEVELボタン(69)

30 VOLUME（音量）–、+ボタン(9、15、17、19)

31 DISPLAY（表示切り換え/低消費電力モード切り換え）ボタン(24、44、68)

32 SOUNDボタン(58)

33 MEGA BASSボタン(58)

34 リモコン受光部

35 NO•CANCEL（取消し）ボタン(12、29、35、37、など)

36 ジョグダイヤル(9、15、28、30、38、42、45、46、52、53、59～61、63、64)

37 YES•ENTER/SYNCHRO REC START（決定/シンクロ録音スタート）ボタン(29、35、36、37、38、45、48～54など)

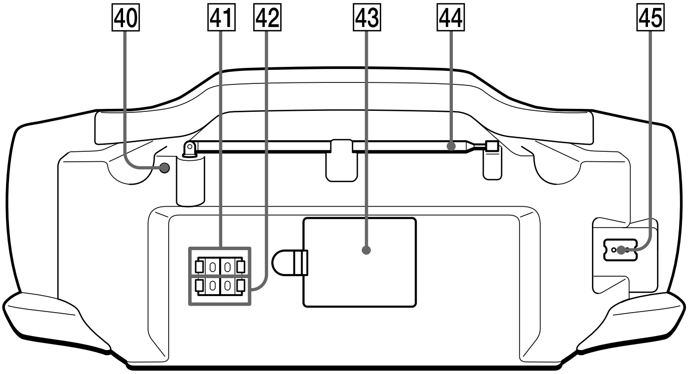
38 LINE IN（アナログ入力）端子(69)

39 ♫（ヘッドホン）ジャック（ステレオミニジャック）

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

本体後面



本体後面

40 リセットボタン(76)

41 FM EXT ANTENNA（FM外部アンテナ）端子（67)

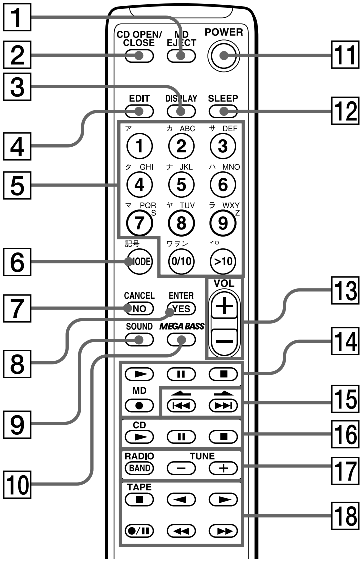
42 AM ANTENNA（AMアンテナ）端子(66、67)

43 メモリー用乾電池収納部(65)

44 FM/TV（1-3CH）用ロッドアンテナ(17)

45 ～AC INジャック(66)

リモコン



リモコン

1 MD EJECTボタン(15)

2 CD OPEN/CLOSEボタン(8、10)

3 DISPLAYボタン(24、44、68)

4 EDITボタン(48〜53、56、57)

5 数字/文字ボタン(25、31、34、55)

6 MODEボタン(17)

7 NO•CANCELボタン(12、29、35、37など)

8 YES•ENTERボタン(29、35、36、37、38、45、48〜54など)

9 SOUNDボタン(58)

10 MEGA BASSボタン(58)

11 POWER(電源)ボタン(9、12、15、17、19)

12 SLEEPボタン(62)

13 VOL(音量)+、–ボタン(9、15、17、19)

14 MD操作ボタン

► (再生)(15、39〜41、43)
❚❚ (一時停止)(15、39〜41、43)
■ (停止)(15)
● (録音)(39、40)

15 ⏮、⏭ (AMS (選曲) /サーチ) ボタン(9、15、25)
⟵、⟶(戻し／送り)ボタン(31、54)

16 CD操作ボタン

► (再生)(8)
❚❚ (一時停止)(9)
■ (停止)(9、10、12)

17 RADIO操作ボタン
BAND(16、30)
TUNE−、+(16)

18 TAPE操作ボタン

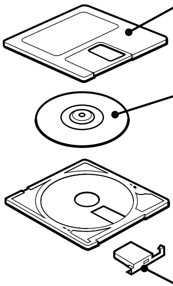
◄/► (再生)(18、21)
❚❚ (一時停止)
■ (停止)(19、21)
●/❚❚ (録音／録音一時停止)(21)
◄◄/►► (巻き戻し／早送り)(19)

ミニディスクとは？

構造

直径64mmのディスクを68×72mm、厚さ5mmのカートリッジに収め、コンパクトな上に傷などを気にしなくてすむ手軽さを実現しています。

ミニディスクの構造



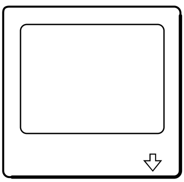
ディスクの種類

ミニディスクには、再生専用のものと録音できるものと2種類あります。

再生専用ミニディスク

再生のみが可能なディスクで、市販のMDソフトはこのタイプです。CDと同様、ピット（小さなくぼみ）の有無で音楽データが記録されており、光学ピックアップで読み取って再生します。

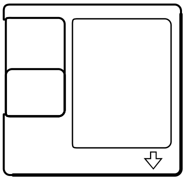
再生専用



録音用ミニディスク

録音もできるいわゆる「生ディスク」です。光磁気（MO：Magneto-Optical）ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録する磁界変調光学方式を採用しています。

録音用



特長

長時間録音

新開発の音声圧縮技術「ATRAC：Adaptive TRansform Coding」を採用。このサイズでCDと同じ時間の録音を可能にしました。聴覚心理学に基づいて人の耳には聴こえない音をカットし、音楽データを約1/5に圧縮します。

素早い選曲、編集

CDと同様、ディスクならではの選曲性のよさに加え、音楽以外に曲番、演奏時間などのデータを同時に記録することにより、録音用ミニディスクでの瞬時の編集を可能にしました。

耐震性が向上

新開発の耐震技術「音とびガードメモリー」を採用。これにより従来の光・光磁気ディスクの「振動に弱く音とびしやすい」という弱点を気にする必要がなくなりました。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います(「Toc Edit」が表示されます)。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ行

アルファベット順

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金 9:00～20:00、
土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in China